

平成29年度  
事業概要

社会福祉法人かながわ共同会  
厚木精華園

平成 29 年度事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成 29 年度は指定管理による施設運営の第二ステージの 2 年目となり、更なる「支援・介護・看護」による統合的なケア等の充実を目指しました。

当園のサービス利用者は、年度末現在 315 名（施設入所支援 105 名・生活介護 145 名・共同生活援助 31 名・厚木身体障害者等生活介護 34 名）であり、1 年間の新規契約者は 6 名で、退所者は 19 名、うち 5 名死亡・老人ホーム移行 6 名・療養型病院転院 2 名で、平均年齢は 67.6 歳となっています。利用者の高齢化や重度化に寄り添う支援の充実のため、シャワーチェア等福祉機器の導入や高齢者支援セミナーのテーマを「高齢者を知る」とし年間 12 回開催し、321 名の受講があり、高齢の知的障害者支援のノウハウの発信にも取り組みました。

地域連携では、荻野地区みんなで安心まもり隊として防犯・防災活動における地域連携に取り組み、地域ニーズに対応した応急手当普及員派遣を 4 回、理学療法士派遣等地域貢献の促進を図りました。

在宅の障害者支援の一環として、サービス等利用計画策定等の相談支援事業や厚木市の障害支援区分認定調査にも取り組み、厚木身体障害者等生活介護事業では養護学校卒業生の新規受入れ等年間延 3,165 人の利用となりました。

最後に、平成 30 年度も引き続き、津久井やまゆり園芹が谷園舎等の利用者の意思決定支援やグループホーム体験利用等、当園も同法人の運営施設として津久井やまゆり園の再生に取り組むとともに、よりきめ細やかな寄り添う支援の充実のために、今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月

園長 平嶺 一昭

## 目次

はじめに（園長挨拶）

I	法人事業報告	1
	1 基本理念	1
	2 経営の視点	1
	3 事業計画概要	1
	4 組織図	2
	5 会議・委員会等体制	2
	6 年間事業取組結果	3
	7 会議・委員会等取組結果	5
	8 職場研修実績	8
	9 危機管理・安全対策	10
	10 年度重点目標評価・まとめ（法人事務局）	11
II	園事業報告	13
	1 園概況	13
	(1) 沿革	13
	(2) 事業内容	13
	(3) 利用者概況	13
	2 第四期中長期計画	14
	(1) 取組みの視点	14
	(2) 基本方向	14
	3 組織図	15
	4 会議・委員会等体制	16
	5 年度重点目標評価・まとめ	19
	6 運営実績	21
	7 決算報告	22
	8 年間事業取組結果	23
	9 会議・委員会等取組結果	25
	10 各課年度重点目標取組結果	27
	11 人権・権利擁護	29
	(1) 取組内容	29
	(2) 苦情・要望報告(件数)	29
	(3) 人権・権利擁護目標・効果	30
	12 危機管理・安全対策	31
	(1) 取組内容	31
	(2) 事故防止等対策	31
	(3) ひやりはっと報告	31
	(4) 事故報告	31
	(5) 防災・防犯訓練実施報告	32
	13 職場研修実績	33
	(1) 園内研修	33
	(2) 外部研修	34
	14 ボランティア活動受入実績	35
	(1) 行事	35
	(2) 日常	35
	15 実習生・研修生等受入実績	36
	16 地域サービス事業取組結果	37
III	各課事業報告	38
	1 総務課	38
	2 栄養調理課	39
	3 相談研修課	41
	4 生活課	45
	5 日中支援課	47
	6 看護課	49
	7 厚木身体障害者等生活介護事業所	56
	8 地域生活支援課	57
	9 厚木精華園相談支援事業所	59
IV	家族会活動報告	60
V	後援会活動報告	61

# I 法人事業報告

## 1 基本理念

社会福祉法人かながわ共同会は、誠実と信頼を旨とし、人権に根ざした利用者本位の考えに立ち、多様なニーズに対応する支援体制の整備、サービスの量的、質的充実につとめ、利用者と地域社会の繁栄に貢献するとともに社会的な法人としての価値を創造していきます。

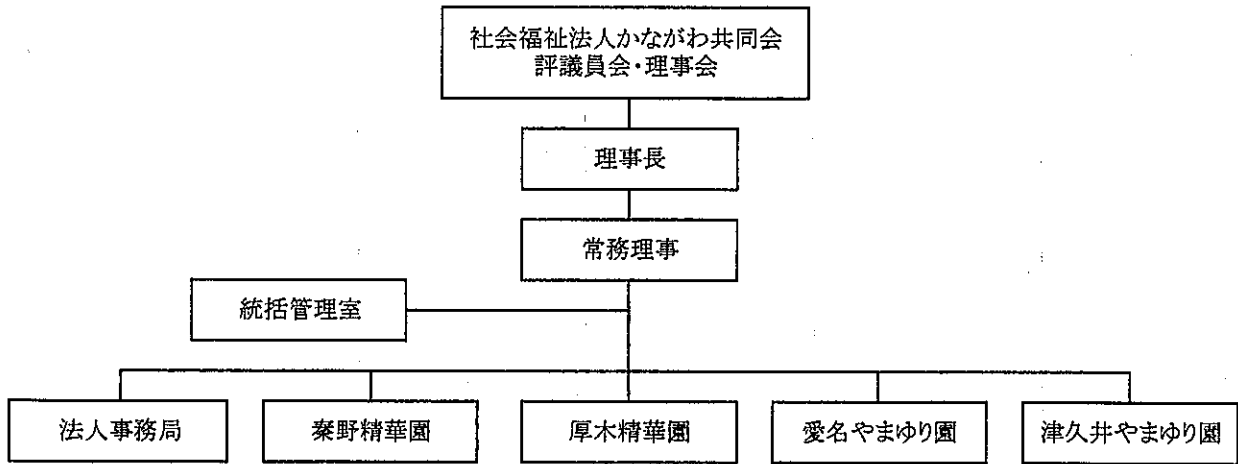
## 2 経営の視点 ※ かながわ共同会第四期中長期計画より

- ・地域の福祉ニーズを鋭敏に捉え、地域とともにそれに応える意識を持つことが重要となる。そのために、日常業務において「創意工夫と変革」を推進し、新たな取組みへの挑戦とやりがいのある組織集団となる法人経営を目指す。
- ・対人サービスである福祉は、「人財」が運営の要である。福祉人材の確保が極めて厳しくなる中、若者や地域住民が福祉を身近なものとし、福祉に魅力を抱くことができる職場づくりが必要である。かながわ共同会を法人職員が「自ら誇りに思う」組織となるよう、人材確保・育成、処遇改善により安定した職員体制構築に向けた人事トータルプランを策定する。
- ・計画的な財務運営を図り、新たな取組みへの資金需要に備える。

## 3 事業計画概要 ※ 平成29年度事業計画より

- ・今日、少子高齢化や福祉ニーズの多様化等福祉サービスの主たる担い手である社会福祉法人が果たしていく役割はますます重要になっています。平成28年4月及び平成29年4月施行の社会福祉法人改革は、経営組織の見直しや財務規律の強化等により社会福祉法人の公益性や非営利性を活かして、より一層地域社会に貢献する役割が期待されています。法人においては、制度改革の具体化とともに関連する法人組織内の各種整備や事業展開を本事業計画に盛り込み、取組んでいきます。
- ・神奈川県指定管理者制度により経営する3園については、第四期中長期計画に基づいた事業運営を今後も行っていますが、そのうち津久井やまゆり園については、本年4月より県立ひばりが丘学園（横浜市港南区芹が谷）の建物を借りて運営することになっています。また、秦野精華園は県から移譲を受け、法人設立以来初の法人立の入所施設として経営がスタートします。  
こうした大きな転換期となる平成29年度は、法人経営の重要課題に対して、職員一人ひとりと法人の組織力、総合力をもって取組んでいきます。また、昨年10月14日に神奈川県より出された「ともに生きる社会かながわ憲章」に基づき、誰もがその人らしく暮らすことのできる社会づくりにも取組みます。
- ・第四期中長期計画（平成28年度～平成31年度）については、昨年7月の津久井やまゆり園事件により、法人各園の今後の取組みにも影響が生じることから、同実施計画について見直しを進めていきます。未だ事件の影響は様々な面にも残っていますが、法人として施設の安全管理対策を強化するとともに各園共により一層、各種事業を計画的かつ着実に推進していきます。本年度もサービスの充実を図るため第四期中長期計画の重点目標と取組みの視点や内容の統一化を図り、同計画の単年度での評価が明確になるよう取組んでいきます。

#### 4 組織図



#### 5 会議・委員会等体制

	会議等名	協議・検討内容
意思決定会議	園長会議	・法人全体に関わる主要課題を審議する。
調整会議	四園会議	・評議員会・理事会等に係る議案の審議・確認を行う。
	総務部長会議	・法人における総務関連を中心とした課題の審議を行う。
	総合支援部長会議	・法人における支援関連を中心とした課題の審議を行う。
諮問委員会	財務状況検討委員会	・理事長の諮問に応じ、法人財務状況に関する主要課題について審議・調査等を実施し、結果を答申する。
	人事考課制度検討委員会	・理事長の諮問に応じ、人事考課制度に関する主要課題について、審議・調査等を実施し、結果を答申する。
運営委員会	法人人権委員会	・利用者の人権・権利擁護への取組みを推進する。 ・人権に根差した職場環境づくりの推進、諸事業の実施・検討を行う。
	法人研修委員会	・研修事業の円滑な実施を図る。
	法人情報ネットワーク委員会	・法人情報ネットワークの適正な運用を行う。
職種別委員会	会計担当者会議	・法人事務局、四園の会計全般に関する諸課題の整理、具体的解決を図る。
	給与検討委員会	・給与事務に関する諸課題の整理と確認を行う。
	法人CW連絡会	・各園の地域サービス、相談業務に関する諸課題を整理する。
	法人相談支援従事者連絡会	・地域における相談支援事業に関する諸課題を整理する。
	法人GH連絡会	・各園のグループホーム事業に関する諸課題を整理する。
	法人看護課連絡会	・各園の看護・医療業務に関する諸課題を整理する。
	法人心理連絡会	・各園の心理業務に関する諸課題を整理する。
特命課題委員会	経営戦略会議	・園長会議で選定した重要課題について、調査・協議し、法人経営に活かす。
	危機管理委員会	・危機管理対策本部の所掌事項に係る具体的取組みの企画立案、事業実施を推進する。

6 年間事業取組結果

平成29年度かながわ共同会年間事業計画

2018/3/30 現在

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 土		1 月		1 木	9 園長会議(厚) 13 経営戦略会議②(愛)	1 土		1 火		1 金	意向申告書配布 法人総合防災訓練①
2 日		2 火		2 金	階層別研修②(中堅・厚)	2 日		2 水	930 法人看護課連絡会③ 10 法人CW連絡会③ 15 法人人権委員会③(愛)	2 土	
3 月	845 辞令交付	3 水	憲法記念日	3 土		3 月		3 木	9 園長会議 13 経営戦略会議③	3 日	
4 火		4 木	みどりの日	4 日		4 火		4 金	階層別研修⑥(監督・厚)	4 月	
5 水		5 金	こどもの日	5 月	職員健康診断(薬) 15 法人人権委員会②(愛)	5 水	10 相談支援従事者連絡会②	5 土	夕涼み会(津)	5 火	
6 木	9 園長会議(事) 15 臨時支援部長打合せ(事)	6 土		6 火		6 木	9 園長会議(厚)	6 日		6 水	長寿の祝い(厚) 10 相談支援従事者連絡会③ PM 人事評価研修(津)
7 金		7 日		7 水	職員健康診断(愛) 1330 総合支援部長会議②(愛)	7 金	階層別研修⑥(中堅・厚)	7 月		7 木	9 園長会議(愛)
8 土		8 月		8 木	9 園長会議(事)	8 土		8 火		8 金	階層別研修⑩(中堅・厚)
9 日		9 火	監事監査	9 金	13 研究活動援助事業報告会(厚)	9 日		9 水		9 土	
10 月		10 水	監事監査	10 土		10 月		10 木		10 日	
11 火		11 木	9 園長会議(事) 10 法人心理連絡会①(愛)	11 日		11 火		11 金	山の日	11 月	
12 水	930 法人看護課連絡会①(愛) 10 法人CW連絡会①(厚) 15 総務部長会議①(厚)	12 金	10 相談支援従事者連絡会②(愛)	12 月		12 水	15 法人研修委員会②(津)	12 土		12 火	
13 木	9 園長会議(薬) 13 経営戦略会議①(薬)	13 土	ふれあいフェスティバル(厚木地区)	13 火		13 木	9 園長会議(薬) 10 法人心理連絡会②	13 日		13 水	
14 金	15 法人人権委員会①(厚)	14 日		14 水	10 法人CW連絡会② 15 総務部長会議②	14 金	階層別研修⑦(中堅・厚)	14 月		14 木	9 園長会議(愛) 10 法人心理連絡会③(愛)
15 土		15 月	職員健康診断(津) 15 法人研修委員会①(厚)	15 木	9 園長会議(厚)	15 土		15 火		15 金	階層別研修⑯(初管・津)
16 日		16 火		16 金	階層別研修③(中堅・厚)	16 日		16 水	(930 自主事業再編PJ⑤)	16 土	
17 月	15 法人情報NW委員会①(愛)	17 水		17 土		17 月	海の日	17 木	階層別研修⑨(中堅・薬) 9 園長会議	17 日	
18 火	14 臨時園長会議(厚)	18 木	9 四園会議(薬) 自主経営化記念・感謝の集い(薬)	18 日		18 火		18 金	1330 総合支援部長会議③	18 月	敬老の日
19 水	(930 自主事業再編PJ①)	19 金	15 法人危機管理委員会①(愛)	19 月		19 水	(930 自主事業再編PJ④) 15 人事考課制度検討委員会②(愛)	19 土		19 火	祝寿の宴(愛)
20 木	9 園長会議(厚)	20 土		20 火		20 木	9 園長会議(愛) 15 会計担当会議② 15 法人危機管理委員会②	20 日		20 水	1430 会計担当会議③ 15 人事考課制度検討委員会③(薬)
21 金	昇格者対象人事評価者研修 (該当なし)	21 日		21 水	930 法人看護課連絡会②	21 金		21 月	15 法人情報NW委員会③	21 木	9 園長会議(事) 15 給与担当者会議②
22 土		22 月	職員健康診断(厚) 15 人事考課制度検討委員会①(薬)	22 木	9 園長会議(事) 15 給与担当者会議①	22 土		22 火		22 金	階層別研修⑬(初管・津)
23 日		23 火	職員健康診断(薬)	23 金	階層別研修④(監督・厚) 定時評議員会 新理事会	23 日		23 水	15 総務部長会議③	23 土	秋分の日
24 月	15 法人GH連絡会①(愛)	24 水		24 土		24 月	1330 道徳式(相模女子大学グ リーンホール)	24 木	9 園長会議	24 日	
25 火		25 木	園長会議(厚)	25 日		25 火		25 金		25 月	
26 水	法人折りの日 昇格者対象人事評価者研修 (該当なし)	26 金	法人折りの日 階層別研修①(F.M.・愛)	26 月	法人折りの日 15 法人GH連絡会②	26 水	法人折りの日	26 土	法人折りの日	26 火	法人折りの日 15 法人研修委員会③(薬)
27 木	9 園長会議(愛) 1330 総合支援部長会議①(愛)	27 土		27 火		27 木	9 園長会議(事)	27 日		27 水	15 法人危機管理委員会③(愛)
28 金		28 日		28 水	1530 互助会総会(事)	28 金	納涼祭(愛)	28 月	15 財務状況検討委員会② 15 法人GH連絡会③	28 木	9 園長会議(薬)
29 土	昭和の日	29 月	職員健康診断(津) 15 財務状況検討委員会①(愛)	29 木	9 園長会議(愛) 15 会計担当会議①	29 土		29 火		29 金	階層別研修⑪(中堅・厚)
30 日		30 火	職員健康診断(愛) 14 理事会(現役員)(7:ミー-あつぎ)	30 金	階層別研修⑤(中堅・厚) 15 法人情報NW委員会②	30 日		30 水	階層別研修⑩(中堅・厚)	30 土	
		31 水	職員健康診断(厚)			31 月		31 木	9 園長会議		

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日		1水	職員健康診断(愛)	1金	PMメンタルヘルス・ラインケア研修(津)	1月	元日	1木	9 園長会議 13 経営戦略会議⑤	1木	内示
2月		2木	9 園長会議	2土		2火		2金		2金	
3火		3金	文化の日	3日		3水		3土		3土	Aネットセミナー(厚木地区)
4水	10 法人CW連絡会④ 15 法人人権委員会④(愛)	4土		4月	10 法人CW連絡会⑤ 15 法人危機管理委員会④	4木	仕事始め	4日		4日	
5木	9 園長会議(厚) 13 経営戦略会議④	5日		5火		5金		5月	16 財務状況検討委員会④	5月	
6金		6月	職員健康診断(津)	6水	15 法人人権委員会④(愛)	6土		6火		6火	14 相談支援従事者連絡会⑤
7土	ラ・フェスタ(厚)	7火	職員健康診断(愛)AM	7木	9 園長会議 13 経営戦略会議⑤	7日		7水	10 法人CW連絡会④(愛) 15 法人人権委員会④(愛)	7水	14 理事会(アミーあつぎ)
8日		8水	10 相談支援従事者連絡会④ 14-16 理事会(厚・体育館)	8金	13 体験交流セミナー(厚)	8月	成人の日	8木	9 園長会議(津)	8木	9 園長会議
9月	体育の日	9木	9 園長会議 10 法人心理連絡会④	9土		9火	成人のつどい(愛)	9金		9金	採用前研修③(厚)
10火		10金	階層別研修③(上管・津)	10日		10水	成人式(愛)	10土		10土	
11水	930 法人看護課連絡会④	11土	秋の交流会(愛)	11月	15 法人情報NW委員会⑤	11木	9 園長会議 10 法人心理連絡会④	11日	建国記念の日	11日	
12木	PMハラスメント防止研修①(厚)	12日		12火	指導監査(厚)	12金	10 相談支援従事者連絡会⑤ 15 法人研修委員会④(事)	12月	振替休日	12月	
13金		13月		13水	指導監査(愛) 930 法人看護課連絡会⑤	13土		13火		13火	
14土		14火	職員健康診断(愛)AM	14木	指導監査(津)	14日		14水	930 法人看護課連絡会⑤ 14 理事会(事) 15 人事考課制度検討委員会④(厚)	14水	
15日		15水	職員健康診断(津)AM	15金	PMハラスメント防止研修③(愛)	15月	15 法人GH連絡会⑤	15木	9 園長会議(兼) 13 総合支援部長会議⑤	15木	9 園長会議 10 法人心理連絡会④(愛) 14 評議員会(アミーあつぎ)
16月	甲監査(職員調査)(厚)	16木	9 園長会議 15 法人研修委員会④(愛)	16土		16火		16金	15 法人研修委員会④(愛)	16金	
17火	甲監査(職員調査)(厚)	17金	14-16 評議員会(兼) PMハラスメント防止研修③(愛)	17日		17水	15 人事考課制度検討委員会④	17土		17土	
18水	甲監査(職員調査)(厚)	18土		18月		18木	9 園長会議	18日		18日	
19木	甲監査(職員調査)(厚)	19日		19火	指導監査(兼)	19金	採用前研修①	19月	15 法人情報NW委員会⑤ 16-15 評議員会選任・解任委員会(アミーあつぎ) 採用前研修②(アミーあつぎ)	19月	
20金	階層別研修③(中堅・厚)	20月		20水	10 総務部長会議④(愛)	20土		20火		20火	
21土		21火	職員健康診断(厚) 甲監査(本調査)(愛)	21木	9 園長会議(兼) 15 会計担当委員会④(愛)	21日		21水	15 総務部長会議⑤	21水	春分の日
22日		22水	9 園長会議 15 人事考課制度検討委員会④	22金	1330 総合支援部長会議④(厚)	22月		22木	意向打診	22木	9 園長会議 15 給与担当委員会④
23月	15 法人GH連絡会④	23木	勤労感謝の日	23土	天皇誕生日	23火		23金	9 園長会議(事) 15 法人危機管理委員会④	23金	15 会計担当委員会⑤
24火		24金		24日		24水	15 法人危機管理委員会④(事)	24土		24土	
25水	PMハラスメント防止研修②(厚)	25土		25月		25木	9 園長会議 15 会計担当委員会⑤	25日		25日	
26木	法人折りの日 9 園長会議(兼) 職員健康診断(厚) 13 総合支援部長会議④	26日	法人折りの日	26火	法人折りの日 15 財務状況等検討会議(愛)	26金	法人折りの日	26月	法人折りの日 14 評議員会(兼) 15 法人GH連絡会④(愛)	26月	法人折りの日
27金	14 総務部長会議④(事)	27月	職員健康診断(厚)AM 14 全体運営協議会(厚・体育) 15 財務状況検討委員会④	27水		27土		27火		27火	
28土	あいなまつり(愛)	28火	メンタルヘルスケア対策事業(兼)	28木	仕事納め	28日	人権フォーラムかながわ21 (伊勢原市民文化会館)	28水		28水	
29日		29水	法人総合防災訓練②	29金		29月				29月	9 園長会議
30月	職員健康診断(兼) 15 法人情報NW委員会④(津)	30木	9 園長会議	30土		30火				30火	退職辞令交付 職員ほう賞授与式
31火				31日		31水				31土	



7 会議・委員会等取組結果

会議等名	H29年度所管事項・取組結果
人事考課制度検討委員会	<p>(1) 現行人事考課制度の課題を整理し、抜本的見直しへ向けた具体案を提示する。</p> <p>① 評価の基準に関すること 1級から3級までそれぞれの評価のポイントを見直し、評価点を明確にする必要から「人事評価のポイント」の改定を図った。</p> <p>② 面接に関すること 年間を通して面接回数や方法を見直すこと、評価者の技術面の一定レベルの維持のために継続的な研修実施の必要性がある。</p> <p>③ 賃金に関すること 評価の基準の見直しによりSからDまでの評価がつけやすくなると、今後法人の経営面を考えた際どこまでの昇給幅が適正といえるかという問題が挙げられる。今後処遇改善費を昇給分に使用する方向のため、その動向に注視していく必要がある。また、現在は本俸への反映とされているため生涯賃金に大きく影響することになるので、賞与への反映として評価期間と合わせて見直すことも、今後検討の必要がある。</p> <p>(2) H28年度答申内容の再確認を行う。</p> <p>① 指標・サンプルおよび新版「階層別・職員に求められる役割・能力・行動」(平成28年度法人研修委員会作成)の精査については、法人研修委員会の案をもとに、人事評価のポイントとの整合性について検証した。併せて、人事評価のポイントを改正するにあたり、それぞれの項目において評価の基準と加点減点の要件を見直した。</p> <p>② 異動者・評価資料(要領等改訂含む)の精査については、人事考課制度実施要領の改正案・様式案を作成した。第12期においては委員会メンバーが試行で様式を実際に使用して、結果をもとに調整し、第13期開始の前に要領改正として周知を図りたい。</p> <p>③ 「人事評価のポイント」の再編について、1級から3級までの評価基準と加点減点対象の見直しを行い、各項目の「主要要素」を達成しやすい順番で記載し、評価者がつけやすいように改善案を作成した。今年度においては現行の評価のポイントの主要要素の内容をもとに、評価基準と加点減点要件を見直したため、引き続き文言の整理は必要である。</p>
法人人権委員会	<p>(1) 人権擁護・虐待防止等に関する啓発、研修の実践に向けた具体的な取組を行う。</p> <p>・「職員行動の指針」の前回の改訂が平成19年であったため、虐待防止法等新しく制定された法律について触れていないこと、また内容が現状と乖離している状況等を委員会で確認し、事務局へ報告した。</p> <p>・「人権自己チェックリスト」の設問内容を見直し改訂を行い、1月にアンケート実施した。</p> <p>(2) 「メンタルヘルスケア」、「ハラスメント防止」に関して具体的に取組む。</p> <p>・「メンタルヘルスケア」「ハラスメント防止」の啓発や相談先を明記したリーフレットを、臨時的任用職員、非常勤職員を含む全職員へ配布した。また各セクションに「ハラスメント防止」のポスターを配布し、レインボーネットの共有フォルダに掲載した。</p> <p>・管理職を対象としたメンタルヘルス・ラインケア研修・ハラスメント防止研修では演習やロールプレイを中心にを行い、それぞれ29名・40名が参加した。</p> <p>・一般職員を対象としたハラスメント防止研修では、未受講者を中心に各園から参加者を募り、3回(10/25,11/17,12/15)実施し、計47名が参加した。</p> <p>(3) 不適切と思われる支援の抽出・共有化及び解決策の具体的な取組方法を検討する。</p> <p>・委員会内でまずは不適切と思われる支援についての抽出と共有化を図った。しかし、その考え方を共通化するに至らなかった。法人内において不適切と思われる支援の定義が明確にされていない状況に起因すると考えられる。今後は基本的な考え方を共通化することが必要だと思われる。</p> <p>(4) H29年度人権フォーラムかながわ21再開に向け取組む。</p> <p>・今年度の人権フォーラムは津久井やまゆり園事件後初の開催となり、従来の進め方とは異なって基本的な開催に向けての準備は法人事務局が主導で進めたため、委員会としては当日の担当業務を支える部分に留まった。</p>
法人研修委員会	<p>(1) 法人研修に関する情報共有・意見交換を行う。</p> <p>・事務局・四園の研修開催予定等について情報の共有化を図るとともに、研修講師や内容の検討等意見交換の場として活用した。</p> <p>・レインボーネット「研修お知らせ」を活用して情報発信をすすめ、他園での研修への参加を促した。</p> <p>(2) 新版「職員に求められる役割・行動・能力」(H28年度所管事項により作成)の内容の再確認をする。</p> <p>・3級の管理者を「初級管理者」、2級の監督者の主任を「寮長・主任」と改める。</p> <p>・中堅Ⅱについて、現状の職員配置・業務分担状況から能力開発期Ⅲ・Ⅳについては統一した役割とした。</p> <p>・以上の検討した内容を人事考課検討委員会に引き継いだ。</p> <p>(3) 集合研修における効果的なフィードバック体制を構築する。</p> <p>・階層別研修(中堅)(10月20日実施)参加者に対し、試行として「研修振り返りチェックシート」を配布し、研修によって得た知識、技術が生かされているか、生かされていないかのフィードバックを行った。</p> <p>(4) 研修に対する「職場風土」改善(研修アンケート結果抽出課題)へ取組む。</p> <p>・研修アンケートより抽出された課題の検証を行った。</p> <p>・研修参加後の復命書・報告書の作成に関するマイナスイメージや負担感に関する意見が多いが、法人・事業所として職員に求めるスタンダードな研修には十分な取り組みと実施ができています。</p> <p>・個人での研修に対する意識のバラつきがあるのは否めない。今後は職員個々のスキルアップのための自己研鑽となる研修の情報提供と、参加促進を強化していくと共に、効果的な研修について検証する必要がある。</p> <p>・研修に対する職場風土を健全にしていくにはセクションごとのリーダーの役割が大きく、管理職への働きかけが必要である。</p> <p>(5) その他、取り組んだ内容</p> <p>・昨年度に引き続き、研修アンケート(職場研修の推進実態・OJT活性度診断)により調査を行う。昨年度より全体的な評価は上がっていた。</p> <p>・今後の集合研修については、再度フィードバック体制について検討し、効果的な研修を組み立てていく。</p>



法人情報ネットワーク委員会	<p>(1) 法人ネットワークシステムの適切な取扱いに向けた啓発を行う。(電子情報に関する運用マニュアルの見直し含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「電子情報に関する運用マニュアル」(平成27年4月1日策定)について内容の確認を再度実施した。職員に対する周知、及び内容の見直しは今後も継続する必要がある、各園5月までに職員への内容の周知を行った。</li> <li>・平成28年よりレインボーネットに栄養ケアマネジメントの機能を付加し、平成29年度より本格的に使用開始した。その中で栄養ケアマネジメントの運用に関するマニュアルの作成・追加に取組む予定であったが、各園の運用方法が安定しておらず、作成に至らなかった。</li> </ul> <p>(2) レインボーネットの諸調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援に関する簡易入力システムの導入を実施した。津久井やまゆり園利用者のみならず、今後他園の利用者も意思決定支援の実施対象となることから、より合理的に意思決定支援に必要な情報を抽出できるシステムをレインボーネットに導入した。</li> <li>・その他レインボーネットのシステム上の修正箇所(栄養ケア計画等)については、その都度確認・調整を行い、必要な対応を行った。</li> </ul> <p>(3) 今後のレインボーネットのあり方を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レインボーネットは出来る限り業務がその中で完結することを目的に導入された経緯があるため、今後ともその趣旨に沿って運用することが重要である。例として朝の連絡簿(モーニングレポート)導入などを再検討していくことも、検討課題として上がった。</li> </ul> <p>(4) Web会議システム導入に向けた運用ルール等を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web会議システムについて、TV会議からテレワークに名称を変更し、導入に向けて取組んだ。導入に向けてまずは愛名やまゆり園で試行を開始した。法人情報ネットワーク委員会・津久井やまゆり園内の会議でも試行を行った。</li> </ul> <p>(5) その他取組み事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ホームページの再開について 事件以降閉鎖していた津久井やまゆり園のホームページを再開したことによる検証を行った。大幅にアクセスが伸びており、海外からもアクセスがあったことが確認できた。</li> <li>・法人ホームページのリニューアルについて 次年度の法人ホームページリニューアルに向け、当初部会を設置して進めた。その後法人事務局人材企画部で作成した業者選定案を委員会でも検討し、協力した。</li> <li>・管理者パスワードの定期的な変更の実施 情報保護の観点から管理者パスワードを1年に1回更新することになっている。5月までに変更を実施し、各園の運用管理者に周知した。</li> <li>・ホームページの更新について 各園のホームページ更新担当者を5月までに2名選任し、ホームページ更新の運用を行った。</li> </ul>
法人CW連絡会	<p>(1) 相談業務に関する課題整理と具体的な対応に取組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換シートを用いて情報提供や課題共有、課題解決のためのケース検討を実施した。あわせて制度の活用や他の地域資源情報を確認し、スキルアップに繋げた。</li> <li>・加齢児解消に向けた受入については、県の加齢児移行調整会議でリストアップされている方や二次的受入の協力について情報共有および確認を行った。</li> <li>・「意思決定支援」の取り組み内容や、記録の取り方等情報共有を図った。</li> </ul> <p>(2) 法人内担当者間での連携と協力体制の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内で共通相談について共有および利用期間などの調整を図る等連携を図った。</li> <li>・秦野精華園の民間移譲に伴う短期利用等の状況を共有し、法人内で協力体制を確認した。</li> <li>・津久井やまゆり園短期入所事業休止に伴い、ケース情報を共有し在宅フォロー体制の確認を行う。</li> </ul> <p>(3) CWとしてのスキルアップと相談支援有資格者のスキルアップを図るための研修等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループスーパービジョン(GSV)人材育成研修等、事例検討や多職種連携を意識した研修参加により、相談支援のスキルアップを図るとともに、情報共有を図った。</li> </ul> <p>(4) その他取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談実績のカウントの仕方について覚書を作成し、次年度より実施する方向で調整を図った。</li> <li>・アセスメント表・入所調整会議の指標となる「判定資料」・情報交換シート等を共有し、現行の書式と併せて必要に応じて活用できるようにした。</li> <li>・「相談援助実習」の受け入れの仕方を共有し、実習の充実を図った。</li> </ul>
法人相談支援従事者連絡会	<p>(1) 法人内相談支援事業所のあり方や方向性等について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所で相談者が相談しやすく、相談支援専門員が相談を受けやすい環境作りが必要であるとの意見集約をした。</li> <li>・各事業所ごとに、相談者や利用者等の日々の記録の様式等が異なる状況を把握した。法人内の事業所で統一した様式を使用し、記録方法を統一できないか検討した。連絡会だけでは検討しきれないため、職員研究活動援助事業を活用し、「ミラクルQを活用した、相談支援事業に係る業務等の改善について」と題し、研究した。</li> </ul> <p>(2) 相談支援専門員のバーンアウト防止、孤立しないための法人内相談支援体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会において、各事業所の課題や最新情報を共有し、検討を行った。各事業所ごとに相談支援専門員が複数配置されていることで、お互い業務を確認し合って孤立を防ぐことができ、連絡会においても業務を遂行する上での疑問点や、障害種別・特性・病状等に合わせた手法の違いについて確認・意見交換を行うことができた。</li> </ul> <p>(3) 意思決定支援に基づいた計画相談のあり方を確認・推進し、地域における障害福祉ニーズに関する情報共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津久井やまゆり園再生基本構想に係る意思決定支援について、それぞれの事業所の取り組みを法人内で平準化するため、総合支援部長会議で、当連絡会から報告議題とした。</li> <li>・各園、事業所等で意思決定支援の取り組みが推進されるよう半期で取りまとめ、当連絡会から「意思決定支援の取り組みについて」中間報告し、取組みを促した。</li> </ul> <p>(4) ケアマネジメント手法の確立を図り、相談支援専門員としてのスキルアップのための研修や事例検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討は行えなかったが、「情報交換シート」を活用し情報の共有化を図り、市町村等の協議会や部会の動向について情報交換を行った。</li> </ul>

<p>法人GH連絡会</p>	<p>(1) 世話人に対して、業務・支援のスキルアップに向けた取組みを行う。(個別支援計画の理解促進等)        ・世話人研修について前年度の取組み結果報告に基づき、各園毎の主催とし、合計4回実施した。(8/9秦野27名・9/13厚木41名・11/20愛名45名・1/18津久井45名)        複数回参加できている職員も多く、多くのテーマに触れ見識を深めることができている。一方で開催日時や研修参加への認識不足により1回も参加できなかった職員もあり、周知の方法などに課題が残った。</p> <p>(2) 重要事項説明書とホーム契約書の確認と具体化(書類作成)に取り組む。        ・四園それぞれのホームの契約書・重要事項説明書の統一を図るため、協議を重ね、統一書式を作成した。</p> <p>(3) 「不適切支援の根絶」に向けた認識の共有化を促進する。        ・世話人研修等で具体的な事例、日々の支援を振り返ることで不適切な対応に至らぬように注意喚起と啓発を図った。また、各園においても定例会議等の中で意識付けを行った。</p> <p>(4) その他取組み        ・かながわ福祉振興会依頼の「グループホーム設置説明会」(3回)に講師派遣した。グループホーム設置の普及を目的に、かながわ共同会のグループホームの運営、支援体制等、四園の各ホームを紹介し、見学の受け入れなど積極的なアピールを行っている。        ・神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構より「障害者グループホーム第三者評価事業者説明会 第三者評価受審体験報告」の依頼があり、気づきや効果・受審実務をどう進めたか等、体験報告を行った。        ・上記説明会・報告会后に各園のグループホームに問い合わせがあり、見学につながっている。</p>
<p>法人心理連絡会</p>	<p>(1) 心理職としての専門的見地から支援現場に効果的な助言を行う。        ・平成29年度は(3)及び(5)を主軸に置き、取組みを行う中で、随時話し合いを行った。</p> <p>(2) 心理業務に関する課題事項の検討と解決への取組みを行う。        ・平成29年度は(3)及び(5)を主軸に置き、取組みを行う中で、随時話し合いを行った。</p> <p>(3) 「こころのケア特別対策プロジェクトチーム」の情報共有を図る。        ・芹が谷園舎に移動後の利用者の状況を見ていく指標として、10月にS-M社会生活能力検査を再度実施し、3月に行ったものと比較をすることになる。集計作業は終わり、データ化し比較した個人データの所見を作成中。</p> <p>(4) H27年度実施アンケート結果報告を周知する。        ・平成29年度は(3)及び(5)を主軸に置き、取組みを行う中で、随時話し合いを行った。        ・(4)について次年度早急に取り組み、周知を行う。</p> <p>(5) 意思決定支援について心理学見地からの有用方法を模索する。        ・「意思決定支援について心理学的見地から考えられること」として、意思決定支援についての研修内容等を発表し、意見交換を行う。アンガーマネジメントの研修から、意思決定支援よりも前段階の「意思形成支援」が大事であることや、そこに心理職がどう関わって行けるのか等の意見を出し合い、実際に行われた意思決定支援会議の資料を基に心理職としての守秘義務のあり方等を話し合った。</p> <p>(6) その他取組み事項        ・国家資格として公認心理師法が施行され、平成29年10月に現任者研修会の公示があった。現心理職の内3名が現任者講習会を受けないと受験資格が得られないことを確認した。        ・平成30年度障害福祉サービス報酬改定で、国家資格となる公認心理師を配置することで加算が取れる事業があることを確認した。</p>
<p>危機管理委員会</p>	<p>(1) 危機管理対策本部会議で決定した取組み事項の具体的な取組み企画及び事業実施案を作成する。        ・現状に即した参集園のあり方を示した。        ・年間予定を定め、委員会開催時に開催園の防災・防犯対策を現地視察し意見交換を実施した。自施設の防災・防犯対策の確認作業をすることができるとともに、他園の取り組みの実際を知り、具体的な対策を共有化できた。        ・平成29年度障害福祉施設危機管理アドバイザー派遣事業を各園単位で実施し、当委員会にて助言を共有・集積した。</p> <p>(2) 法人総合防災・防犯訓練を企画・実施する。        ・昨年に引き続き地元警察署との協働により実施したことで、連携が強固となった。この訓練により、事件に遭遇した場合の職員の動きについての具体的な確認作業ができた。津久井やまゆり園に係る防犯対応訓練のあり方については、今後も取り扱いに注意が必要である。</p> <p>(3) 各園の防災・防犯対策の取りまとめを行う。        ・BCPの構造についての周知。        ・BCP地震災害編の改訂。        ・BCP浸水害・土砂災害編厚木精華園版の策定。</p> <p>(4) その他危機管理に関する事項に取り組む。(ひやりはつの運用等)        ・ひやりはつ報告の集計と報告        ・昨年の「その他」の項目の内容整理の継続と入力システムの見直しにより、レインボーネット上の集計と理事會・評議員会報告を同一化することで集計作業の簡素化が可能となった。津久井やまゆり園のひやりはつ報告数の数値変動から、芹が谷園舎への移動作業による影響が読み取れた。</p>

8 職場研修実績

		OFF-JT								
		法人事務局主催研修				法人各委員会主催研修				
	研修名	内容・目的	対象者	平成29年度 開催回数	参加人数 (計)	研修名	内容・目的	対象者	平成29年度 開催回数	参加人数 (計)
かながわ がわ 共同 会	階層別研修	経験年数・役職に応じた階層別に行われる研修	全常勤職員	16	376	ハラスメント防止研修	ハラスメントの未然防止・理解	法人職員	3	47
	採用前研修	法人職員としての基本姿勢・基礎知識の習得	採用内定者	3	56	ハラスメント防止研修	ハラスメントの未然防止・理解	管理者研修	1	40
	四園交換研修	法人内四園での実体験を通じた資質向上	法人職員	3	3	ハラスメント防止研修	相談苦情への対応と解決処理	管理者研修	1	1
	体験交流セミナー	利用者支援等の実践報告会	法人職員	1	68	ラインケア研修	こころの健康作り対策・必要な知識	管理者研修	1	29
	職員研究活動助成事業報告会	自己啓発として行う研究活動の報告会	法人職員	1	42	人権研修 (GH連絡会主催)	人権擁護	GH世話人	4	158
	人事考課者研修	考課者の役割・評価のポイントをおさえる	課長・主任昇格者							
	人事評価研修	人事評価における面談の意義	管理者研修	1	23					
	海外視察研修	海外事情の視察を通じた職員の資質向上	有力開発期以上の職員							
				25	568					
						10 275				

		四園主催研修									
		目的別研修 (サービスの向上や支援技術の習得等を目的とした研修)					職能別研修 (職種によって生じる課題の解決に向けて知識や技術の習得等を目的とした研修)				
	研修名	内容・目的	対象者	実施回数	参加人数 (計)	研修名	内容・目的	対象者	実施回数	参加人数 (計)	
森 野 精 華 園	権利擁護研修	虐待防止	園内職員	1	58	新採用・異動者研修	森野精華園の事業説明他	新採用・異動者	2	24	
	防犯訓練	防犯について、実技も兼ねて実施	園内職員	3	80	新採用・異動者懇話会	3か月経過した時点での振り返り	新採用・異動者	1	15	
	腰痛予防研修	腰痛予防体操・ヨガ	園内職員	2	41	ヘルパー研修	緊急時対応・支援困難者の対応	ヘルパー	1	14	
	SST研修	SST技術習得	園内職員	3	63	ヘルパー研修	虐待・不適切支援について	ヘルパー	1	16	
	ネグレクト研修	ネグレクトの基礎講座・現状理解	園内職員	1	26	ヘルパー研修	他施設見学及び利用者情報共有	ヘルパー	1	20	
	発達障害研修	発達障害の基礎講座	園内職員	1	18	ヘルパー研修	人権について	ヘルパー	1	26	
	交通安全講習	運転時のマナー、注意点他	園内職員	2	60	ヘルパー研修	利用者情報の共有と対応について	ヘルパー	1	14	
	救命救急講習	森野市普通救命講習Ⅱ	園内職員	1	23	ヘルパー研修	服薬業務の確認 他	ヘルパー	1	14	
メンタルヘルス研修	メンタルヘルスについて	園内職員	3	70	ヘルパー研修	グループホーム利用者情報共有	ヘルパー	2	32		
厚 木 精 華 園	人権擁護研修	利用者の権利擁護	園内職員	1	25	非常勤研修		非常勤職員	3	40	
	交通安全講習	交通安全講習	園内職員	1	30	非常勤研修	とまと・グループホーム見学	非常勤職員	1	4	
	メンタルヘルス	メンタルヘルス研修	園内職員	1	32	新採用・異動職員研修	事業所概要説明・懇話・外部事業所見学	新採・異動職員	4	45	
	普通救命講習	普通救命講習	園内職員	3	32						
	おむつの当て方	正しいおむつの当て方・使い方	園内職員	2	10						
	感染症予防	感染症予防(医師講師)	園内職員	1	38						
	記録の書き方	個人記録記載の仕方	園内職員	1	33						
	意思決定支援	意思決定支援	園内職員	1	15						
	基礎研修	日中支援の取り組み	園内職員	1	29						
	特別研修	スパイス愛で調理	園内職員	1	42						
	特別研修	成年後見制度	園内職員	1	39						
	腰痛予防講習	腰痛予防研修	園内職員	1	42						
愛 名 や ま ゆ り 園	各課研修	「PTに学ぶ腰痛を予防する動作介助法」	園内職員	1	14	非常勤研修	権利擁護、虐待防止に向けての取り組みと利用者支援における認識等について(厚木精華園見学等)	非常勤職員	4	92	
	各課研修	「心齋町人と共に園芸療法」	園内職員	1	17	新入職員研修	各課の事業等説明	新採用職員 法人内異動職員	2	11	
	各課研修	「ストレッチ講座」	園内職員	1	19	新採用職員フォローアップ研修	懇話会・コミュニケーションゲーム等	園内新採用職員 園内職員	1	10	
	各課研修	「被災地ボランティアに行つて」	園内職員	1	25						
	食生活委員会主催研修	栄養ケアマネジメントについて	園内職員	2	35						
	医療研修	「血友病と日常生活」	園内職員	2	64						
	リスクマネジメント研修	「オムツのあて方の講習会」 「リスクマネジメントについて」	園内職員	2	35						
	メンタルヘルス研修	「メンタルヘルス(心の健康)とは」	園内職員	1	20						
	医療研修	医療的ケア・感染症予防 実技研修 (ガウン・ネック)	園内職員	3	44						
	医療研修	感染症講義	園内職員	1	21						
	プール支援前救命講習	救命救急知識技術取得	園内職員	2	10						
	普通救命救急講習会	救命救急知識技術取得(法定研修)	園内職員	5	29						
	防災環境委員会主催研修	そなエリア東京見学	園内職員	1	7						
	防犯・防災環境委員会主催研修	・防犯・防災設備説明 ・防災設備実技研修 ・防犯対策について	園内職員	3	50						
	意思決定支援勉強会	意思決定支援について	園内職員	2	22						
	医療研修	摂食・嚥下研修	園内職員	5	116						
	研究活動助成事業研修	「本田ステージと自閉症(認知発達治療)」	園内職員	1	19						
	視察研修	神奈川県立さがみ緑風園見学、視察説明	園内職員	1	7						
コンサルテーション事業研修	行動障害利用者ケース検討等	園内職員	11	32							
津 久 井 や ま ゆ り 園	職員意見発表会	(1)職員が日々の業務を通して感じている課題や、利用者様支援の具体的な取り組みについて発表する。 (2)体験交流セミナーのプレ発表の場として、プレゼンテーションする機会と経験を積めるようにする。 (3)職員間の相互理解と共通認識を深め、業務の改善と支援の質の向上を図る。	法人、園内職員 外部	1	37	世話人研修	利用者の権利擁護 (日常的な支援場面の確認) 行動障害の理解・GHでの関わり方等	世話人	2	17	
	おむつの当て方研修	利用者の高齢化に伴い、支援技術の向上および知識を深める	園内職員	1	17						
	普通救命講習	心肺蘇生、AED取扱い等職員が対応できる救命についての確認および、技術の習得	園内職員	2	18						
	人権研修	職員が自分自身を守る術を身につけることによる心の安定をもち、日々の支援の安定につながる。	園内職員	1	21						
	感染症研修	(1)インフルエンザについて (2)感染症による嘔吐物処理の実験	園内職員	1	23						
	意思決定支援研修	意思決定支援を進めるにあたって必要な準備について	園内職員・外部	1	31						
	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス不調を未然に防ぐ明るい職場へのコミュニケーションの手法	園内職員	1	23						
	健康管理研修	健康診断の活用法	園内職員	1	18						
				85	1539						
						30 434					



法人総計	研修回数	参加人数
	194	4,049

※SDSを除く

SDS					
自己啓発・地域発信型研修					
かながわ共同会	研修名	内容・目的	対象者	平成28年度開催回数	参加人数(計)
	人権フォーラムかながわ21	障害者の人権啓発	一般・家族・当事者 法人職員	1	173
	職員研究活動援助事業	自己啓発として行う研究活動の助成	法人職員	5組	32名
				1	173

※研究活動援助事業は法人総計にカウントしない。

四園主催研修					
地域発信型研修(法人・園内にとどまらず地域に向けて広く参加を発信している研修)					
秦野精華園	研修名	内容・目的	対象者	実施回数	参加人数(計)
		精神障害コミュニケーション研修	発達障害の理解・コミュニケーションの演習	園内職員・東海大学生	2
	オープンセミナー	限られた時間における有効的な掃除方法について		1	40
厚木精華園	高齢者支援セミナー	高齢知的障害者支援に関するもの	施設・団体職員	12	321
	オープンセミナー	歯周病について	園内・法人職員 近隣事業所職員	1	12
	園外研修講師	知的障害の方の身体機能低下への対応	施設・団体職員	1	60
	園外研修講師	終末期ケアを考えてみよう～高齢化等が顕著になってい る今、私たちは何をすべきか～	施設・団体職員	1	50
	園外研修講師	看護師の取り組み等について	施設・団体職員	1	34
	園外研修講師	応急手当普及員派遣	施設・団体職員	5	48
愛名やまゆり園	オープンセミナー	「意思決定支援について」	法人職員 近隣事業所	1	66
	地域生活サポートセミナー	「STOP虐待!3つの打ち手～あなたの〇〇が解決の糸 口～」	法人職員 近隣事業所	1	34
	拠点施設機能育成事業研修	「誰でも住みよい地域社会の実現に向けて」 「アンガーマネジメントについて」 「フロー理論」	法人職員 近隣事業所	3	183
	専門スタッフ地域巡回支援事業	自立アップ支援セミナー	厚木市内障害当事者	2	10
津久井やまゆり園	オープンセミナー	知的障害者と摂食嚥下障害について ～誤嚥性肺炎と食事支援の理解～	園内職員、法人職員、 希望者	1	34
	すこやかサービス	応急手当普及員有資格職員による一次救命処置・誤嚥 時対応等の講習	近隣事業所職員	11	130
				43	1060

## 9 危機管理・安全対策

### (1) 危機管理対策本部（旧津久井やまゆり園特別対策本部）

#### ア 目的

津久井やまゆり園事件の教訓を踏まえ、社会福祉法人かながわ共同会が管理する施設及び事業所等の安全管理を適切かつ迅速に進める。

#### イ 取組内容・結果

- ・定期的な危機管理情報の確認と評価
- ・施設等の安全安心な運営の妨げとなることが懸念される事項の協議・措置
- ・その他上記内容に関連し必要とされる対応事項への取組み

### (2) 危機管理委員会

#### ア 目的

対策本部会議で決定した取組み事項等について具体的な取組みの企画及び事業実施案の作成。

#### イ 取組内容・結果

- ・対策本部会議で決定した取組み事項の具体的な取組み企画及び事業実施案の作成

#### (結果)

参集園の規定とALSOK安否確認サービスとの関連づけについて検討を重ね、BCP改訂作業へと繋げることが出来た。併せて現状に即した参集園のあり方を示した。

年間予定を定め、委員会開催時に開催園の防災・防犯対策を現地視察し意見交換を実施した。自施設の防災・防犯対策の確認作業をすることができるとともに、他園の取り組みの実際を知り、具体的な対策を共有化できた。

- ・法人総合防災・防犯訓練の企画・実施

#### (結果)

昨年に引き続き地元警察署との協働により実施したことで、連携が強固となった。この訓練により、職員の動きについての具体的な確認作業ができた。

- ・各園の防災・防犯対策の取りまとめ

#### (結果)

BCPの構造についての周知。

- ・その他危機管理に関する事項への取組み（ひやりはっとの運用等）

#### (結果)

ひやりはっと報告の集計と報告。

一昨年の「その他」の項目の内容整理の継続と入力システムの見直しにより、レインボーネット上の集計と理事会・評議員会報告を同一化することで集計作業の簡素化が可能となった。

10 平成29年度 年度重点目標取組評価・まとめ【 法人事務局 】

平成29年度重点目標	上半期取組結果(内容) 平成29年4月～平成29年9月
1 地域ニーズに沿った社会資源の整備	<p>(1)地域関係機関との連携 ・県担当職員の法人諸会議への出席</p> <p>(2)地域の新たな社会資源の整備 ・奈野精華園自主経営スタート後の園との連携</p> <p>(3)地域福祉充実のための取組 ・人権フォーラムかながわ21の内容確定</p> <p>(4)地域防災拠点機能の充実と展開 ・法人総合防災訓練の実施(9/1) ・かながわシェイクアウト訓練参加(9/1)</p> <p>(5)地域ニーズに応じた人材の派遣 ・階層別研修・園内講師による講義(12回のべ14名) ・応急手当普及員等講師の派遣(2名)</p>
2 法人経営の着実な推進	<p>(1)リスクマネジメントの強化 ・毎月1回社会保険労務士との定期相談の実施</p> <p>(2)適切な情報管理の推進 ・法人が保有する情報(個人情報を含む)の安全かつ適正な管理運用の実施 ・H29年度版法人リーフレットの作成 ・ホームページ・リニューアルに向けた取組み ・レインボーネット・研修お知らせ欄の設置・運用</p> <p>(3)柔軟な組織体制の推進 ・津久井やまゆり園片が谷園合移転後の園との連携 ・法人危機管理対策本部会議の開催 ・次年度体制を見据えた各園ヒアリング ・津久井やまゆり園再生基本構想実現に向けた取組み</p> <p>(4)コンプライアンスの徹底 ・改正法人諸規程のレインボーネットによる職員周知</p> <p>(5)社会福祉法改正への対応 ・社会福祉法改正に伴う定款変更登記(4/1) ・理事長交代による変更登記(6/23) ・理事長交代による諸手続の実施</p>
3 経営の安定化	<p>(1)財務基盤の強化 ・財務状況検討委員会への経営・財務上の課題検討 ・経営戦略会議の開催(4/13,6/1,8/3)</p> <p>(2)適切な会計処理の推進 ・会計監査人監査の実施 ・経理支援委託業務の開始 ・内部監査の実施</p> <p>(3)適切な財務管理・効率的な経営 ・改正経理規程の適切な運用</p> <p>(4)権利擁護への取組 ・階層別研修における人権・権利擁護に関する研修の実施(12回)</p>
4 総合的・継続的な人材育成	<p>(1)安定的な人材確保 ・合同就職説明会への参加、個別相談会の開催 ・就職用リーフレットの作成</p> <p>(2)トータル人事管理制度の構築 ・法人研修委員会、人事考課検討委員会での「階層別職員に求められる役割等」の見直し ・交換研修(四園間・県立施設間)の募集・実施(実施予定:四園間2名・県立施設間3名)</p> <p>(3)活気に満ちた就労環境の整備 ・法改正に伴う育休延長の対応 ・職員研究活動援助事業発表会の開催(6/9) ・職員研究活動援助事業の実施(参加:5グループ) ・体験交流セミナー開催に向けた準備(発表予定:4グループ)</p> <p>(4)福祉ニーズに応えられる専門人材の育成 ・常勤職員対象の階層別研修の開催(14回) ・管理職向け研修(人事評価研修)の実施(9/6)</p>

<p style="text-align: center;">下半期取組結果(内容)</p> <p style="text-align: center;">平成29年10月～平成30年3月</p>	<p style="text-align: center;">年度総括</p>
<p>(1)地域関係機関との連携 ・県担当職員の法人諸会議への出席</p> <p>(2)地域の新たな社会資源の整備 ・秦野精華園自主経営スタート後の園との連携</p> <p>(3)地域福祉充実のための取組 ・人権フォーラムかながわ21開催に向けた準備・実施(1/28)</p> <p>(4)地域防災拠点機能の充実と展開 ・BCP(業務継続計画)更新</p> <p>(5)地域ニーズに応じた人材の派遣 ・採用前研修園内講師による講義(1/19・2/20・3/9) ・応急手当普及員等講師の派遣(2名)</p>	<p>重点目標に対して、概ね達成することができた。</p> <p>・秦野精華園自主経営の流れについては、自主経営化対策室と連携を図り、対応した。</p> <p>・かながわシイクアウトへの参加、法人総合防犯訓練を実施し、各園地元警察署と連携し、具体的な動きについて確認を行った。また、法人防犯対策本部との無線訓練、事故対策本部との連絡訓練を実施し、全体の流れについて確認をして成果を上げた。</p> <p>・人権フォーラムについては平成30年1月28日(日) 13:00～16:30、伊勢原市文化会館小ホールにて実施。来場者173名。法人からのメッセージ、当事者の活動発表、社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏より、地域共生社会について講演を実施した。</p>
<p>(1)リスクマネジメントの強化 ・社会保険労務士との定期相談の実施 ・法改正に伴う諸規程の見直し(無期雇用に転換した職員の定年の設定)</p> <p>(2)適切な情報管理の推進 ・法人が保有する情報(個人情報を含む)の安全かつ適正な管理運用の実施 ・個人情報等取り扱い等の研修の実施 ・ホームページ・リニューアルに向けた準備・委託業者の選定 ・レインボーネット「研修お知らせ欄」の運用、活用への提案</p> <p>(3)柔軟な組織体制の推進 ・津久井やまゆり園が谷園舎移転後の園との連携 ・法人危機管理対策本部会議の開催 ・次年度体制を見据えた各園ヒアリング ・次年度法人諸会議体制の構築 ・津久井やまゆり園再生基本構想実現に向けた「モデル施設等調査」の実施 ・現況を鑑みた中長期計画のあり方の検討</p> <p>(4)コンプライアンスの徹底 ・採用前研修(1/23)で人事課より講義</p> <p>(6)社会福祉法改正への対応 ・会計監査人との打ち合わせ(12/12,13,14) ・評議員選任解任委員会の実施(2/19) ・理事会の開催(3/7) ・評議員会の開催(3/15)</p>	<p>重点目標に対して、概ね達成することができた。</p> <p>・ホームページのリニューアルに向け、プロポーザルを行い業者選定を行った。各園担当者・業者と連携し、「分かりやすい情報発信」「人材確保へのツール」「更新のしやすさ」をコンセプトに更新作業を進めていくこととなった。</p> <p>・津久井やまゆり園再生基本構想実現に向けた「モデル施設等調査」を実施した(5施設)。ユニット、小舎制等の施設入所支援における居住環境のあり方、日中、夜間支援のあり方等について、今後も必要に応じ現地調査を企画し、情報収集に努める。</p> <p>・平成30年度新採用予定者の採用前研修を開催した。(全3回・採用予定者24名) ・ハラスメント相談窓口(外部)における相談内容の拡充を図った。 ・ハラスメント防止対策及びメンタルヘルス対策については研修計画に基づき取組んだ。</p> <p>・法改正に伴う諸規定の見直し(無期雇用に転換した職員の定年の設定)については、社会保険労務士との月1回の相談を通し、非常勤職員就業規則等の諸規定について改正法令に則り改正手続きを行った。</p> <p>・第四期中長期計画については現況を鑑み、次年度中長期計画策定委員会を設置し、第四期計画の評価・課題整理を行うとともに、第五期中長期計画を策定することとなった。</p>
<p>(1)財務基盤の強化 ・財務状況検討委員会への経営・財務上の課題検討 ・経営戦略会議の開催(10/5,12/7,2/1)</p> <p>(2)適切な会計処理の推進 ・会計監査人監査の実施 ・経理支援委託業務の実施 ・内部監査の実施</p> <p>(3)適切な財務管理・効率的な経営 ・改正経理規程の適切な運用</p> <p>(4)権利擁護への取組 ・法人事務局内・意思決定支援等ミニ勉強会の実施(毎月)</p> <p>(5)その他</p>	<p>重点目標に対して、概ね達成することができた。</p> <p>・年度後半の法人事務局運営会議において、事務局職員が持ち回りで、意思決定支援や人権擁護等に関するテーマについてミニ勉強会を実施した。今後も継続して実施していく。</p> <p>・会計監査人監査については、理事会や評議員会の前後で各園や法人本部の会計チェックを行った。 ・監事監査も会計監査人が監事へ報告するような新しいスタイルで実施。</p> <p>・経理支援委託業務については、アウトソーシングサービスを模索したが、拠点区分本数が多く、業者との折衝は不調だった。 ・内部監査については、各園総務部長を中心に所属園以外の施設について、利用者預かり金を中心に年間3回実施した。</p> <p>・改正経理規程の運用については、年度初めに各園総務部長を中心に園単位の取組みとして改正経理規程の内容確認を行った。</p>
<p>(1)総合的・継続的な人材育成 ・内定者のフォロー</p> <p>(2)トータル人事管理制度の構築 ・法人研修・人事考課検討委員会等との連携 ・交換研修(四園間・県立施設間)の募集・実施</p> <p>(3)活気に満ちた就業環境の整備 ・職員研究活動援助事業の実施・進行管理 ・メンタルヘルスケア特別対策事業の実施・内容の精査 ・次世代育成支援対策推進法施行にかかる事業主行動計画(第4回)の評価と第5回の制定準備</p> <p>(4)福祉ニーズに応えられる専門人材の育成 ・次年度研修の内製化(法人内講師)の検討 ・サービス管理責任者、強度行動障害支援者養成研修等への受講調整 ・事務員・看護師の専門職採用試験の実施</p>	<p>重点目標に対して、概ね達成することができた。</p> <p>・昨年度見合わせとなった交換研修は再開され、四園交換研修は3名が参加、県立施設間交流研修については3名が参加した。</p> <p>・職員研究活動援助事業は、5グループの申し込みがあり、それぞれ意欲的に研究活動を実施することができた。研究の成果を平成30年6月実施予定の報告会で多くの職員へ発信できるよう、サポートしていく。</p> <p>・メンタルヘルスケア特別対策事業については、基本的に2ヶ月に2回実施で合計で、年間20回実施した。職員からは好評で一人相談、小集団相談等様々な対応を専門医が取り組んでくれた。次年度も継続したい。</p> <p>・今年度は11名の管理職が、法人階層別研修の講師を担った。今後も研修内製化を図るため、管理職を中心に講師を育成していくための土壌づくりに取り組む。</p> <p>・事務員・看護師の専門職採用試験を実施し、平成30年度新採用者の採用活動を行った。</p>



## II 園事業報告

### 1 園概況

#### (1) 沿革

平成 6年	7月	神奈川県立厚木精華園として開設 定員:一般入所118名、短期入所2名 対象:中高齢で医療的ケアの必要な知的障害者 運営主体:社会福祉法人かながわ共同会
平成 7年	4月	厚木市障害者デイサービス(重心)事業受託、運営開始
平成 9年	6月	厚木精華園ゆめホーム事業(グループホーム)開設、運営開始
平成 18年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定
平成 20年	4月	新サービス事業体系へ移行(施設入所支援110名、短期入所2名、生活介護140名)
平成 21年	4月	厚木市身体障害者生活介護事業所受託、運営開始
平成 23年	2月	第三者評価受審(株式会社コモンズ21)
平成 23年	4月	厚木身体障害者等生活介護事業所を自主事業として運営開始
平成 26年	1月	厚木精華園相談支援事業所「ここから」開設
平成 26年	4月	特定障害者支援施設指定更新
平成 27年	10月	厚木市障害者相談支援等事業受託開始
平成 28年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定

#### (2) 事業内容

(名)		(名)		
県指定管理事業		法人自主事業		
事業名	定員	事業所名	事業名	定員
施設入所支援	110	厚木精華園ゆめホーム	共同生活援助	40
生活介護	140	厚木身体障害者等生活介護事業所	生活介護	20
短期入所	2	厚木精華園相談支援事業所	特定	-

#### (3) 利用者概況

了年齢

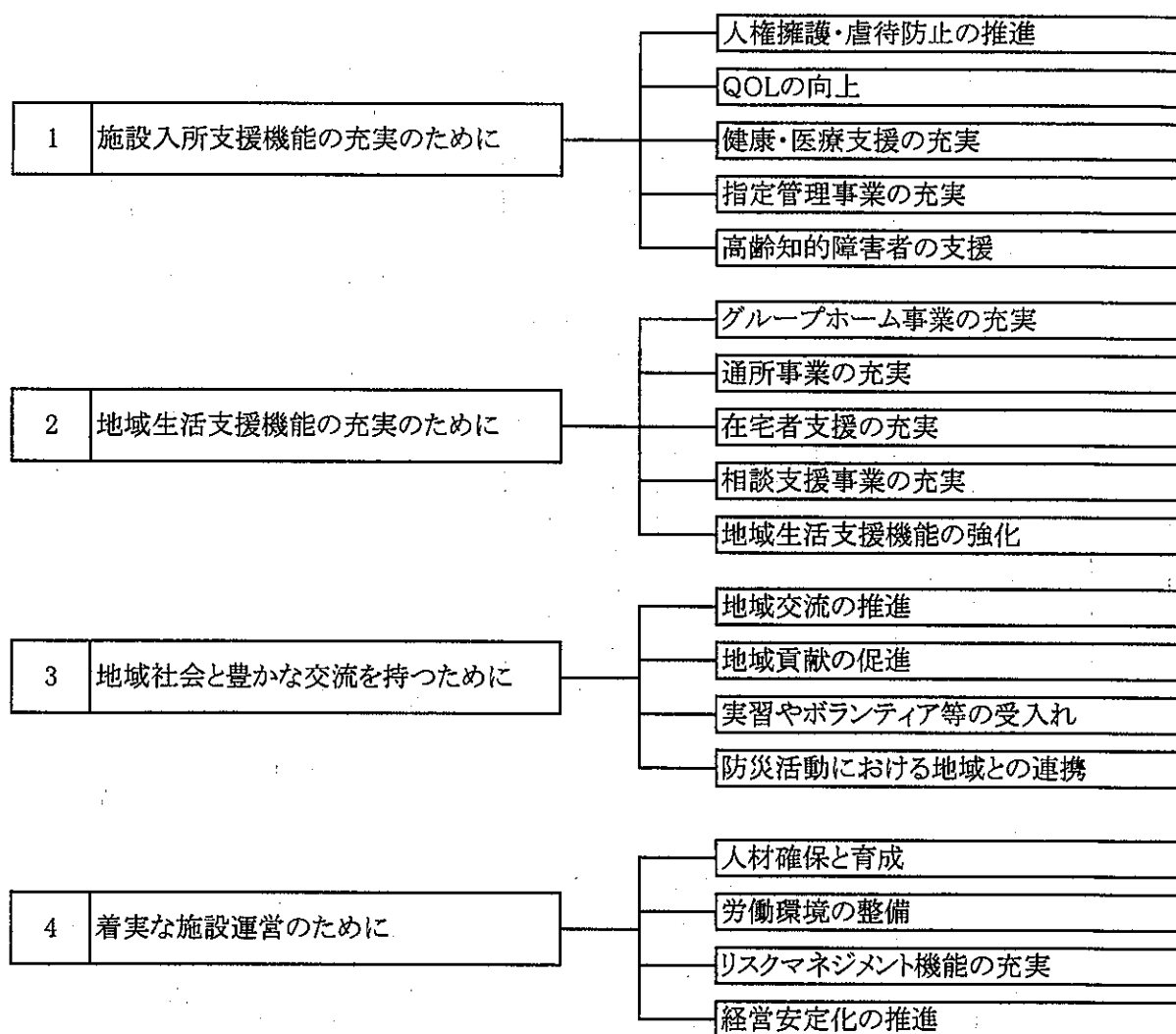
	(歳)		
	平均年齢	最年少	最年長
施設入所支援	67.8	42.5	88.1
生活介護	65.9	25.11	88.1
共同生活援助	65.9	42.4	84.6

#### イ 障害支援区分

	(名)					
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
施設入所支援	56	32	12	5	0	0
生活介護	67	37	20	10	1	0
共同生活援助	1	8	12	9	1	0
合計	124	77	44	24	2	0

## 2 第四期中長期計画

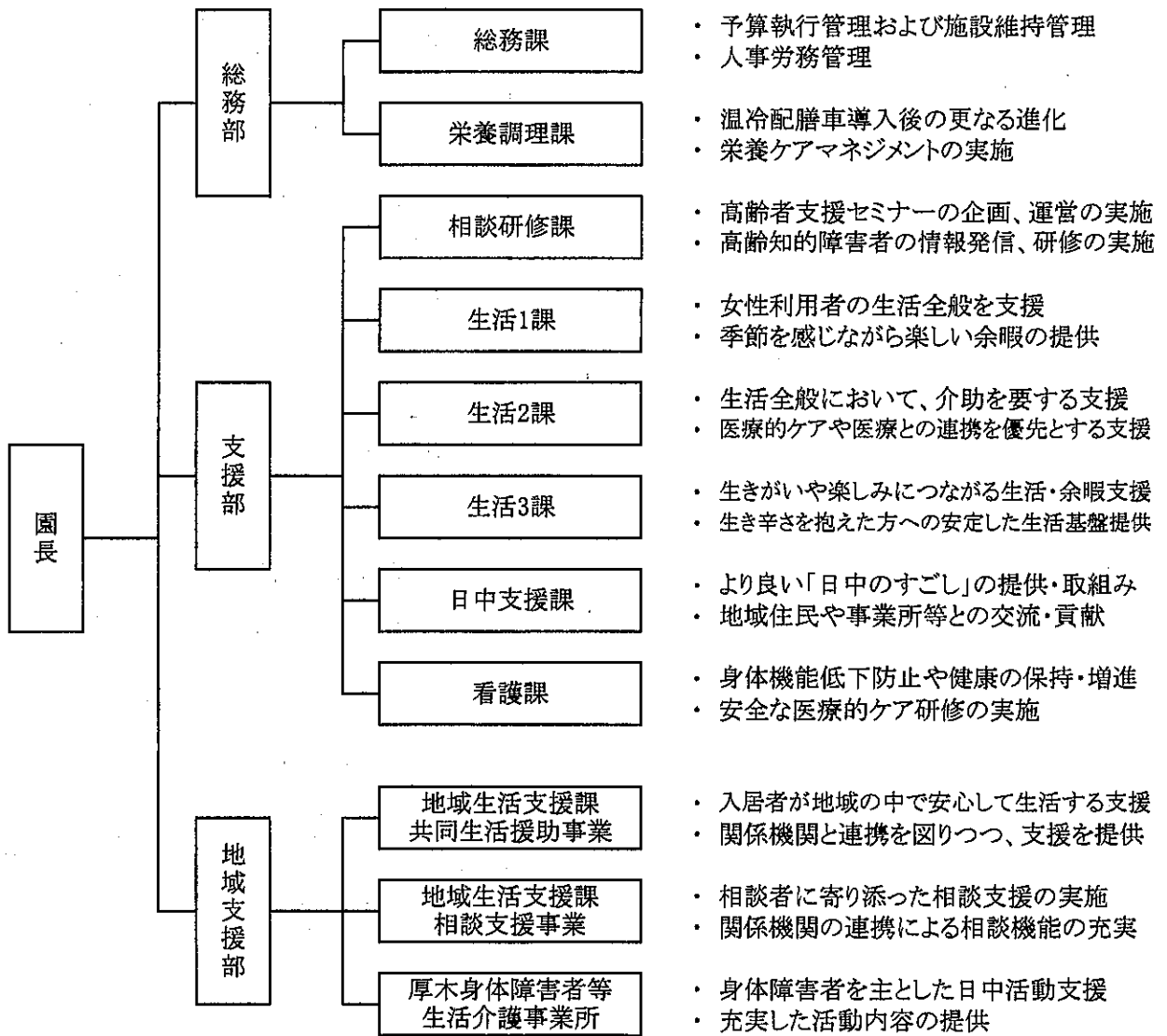
### (1) 取組みの視点



### (2) 基本方向

- ・高齢の知的障害者及び医療的ケアを必要とする中高齢の知的障害者の心豊かで充実した暮らしを支えます。
- ・知的障害者の権利宣言を柱とする「あおぞらプラン」を遵守し、人権擁護の取組みを推進します。
- ・施設生活を固定的に捉えず、地域と連動し、地域生活が可能な利用者には地域での暮らしができるよう支えます。
- ・施設経営を「運営から経営へ」という視点で捉え、事業活動を展開します。

### 3 組織図



#### 4 会議・委員会等体制

会議等名	協議・検討内容	構成員
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>園運営上の重要課題及び重点事項</li> <li>園長の特命事項</li> <li>その他必要事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の経営に関する事項</li> <li>予算に関する事項</li> <li>決算に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 総務課職員
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課間の調整に関する事項</li> <li>運営会議の特命事項</li> <li>成年後見制度の推進に関する事項</li> <li>中長期計画の進行管理に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	各課主任 担当課長
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>園運営上の重要課題に関して職員全体の意見交換及び園内外の情報伝達に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	全職員
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者支援及び個別支援計画に関する事項</li> <li>栄養ケアマネジメントに関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 課長 主任 課員
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者支援に関する事項</li> <li>グループ間の調整に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 課長 主任 グループリーダー
課会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>課運営の主要課題及び重要事項</li> <li>課長の特命事項</li> <li>諸会議報告</li> <li>課全体の意見交換及び情報伝達</li> <li>利用者支援(及び個別支援計画)に関する事項</li> <li>地域生活支援課においてはゆめホーム事業の見直し、相談支援に関する事項</li> <li>相談研修課においては相談事業に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 担当課長 主任 課員
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所希望者の許諾・受入れに関する事項</li> <li>退所希望者に関する事項</li> <li>利用者サービス調整に関する事項</li> <li>地域生活移行・定着に関する事項</li> <li>相談支援に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 ケースワーカー
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内行事(長寿の祝い/ラ・フェスタ/クリスマス会等)に関する事項</li> <li>その他園内行事に関する事項</li> <li>その他必要な事項</li> </ul>	課長
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生法第18条に基づき職員の健康障害を防止するための基本対策に関する事項</li> <li>交通安全に関する事項</li> <li>その他必要事項</li> </ul>	衛生管理者 産業医 園長委嘱職員 労務委員職員

虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止のための体制作りに関する事項</li> <li>・虐待防止のチェックとモニタリングに関する事項</li> <li>・虐待発生後の対応と総括</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 (管理者・サービス管理責任者)
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の人権擁護に関する事項</li> <li>・第三者による点検活動の推進に関する事項</li> <li>・苦情解決に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者自治会のサポートに関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントに関する事項</li> <li>・利用者の安全確保に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する事項</li> <li>・災害対策に関する事項</li> <li>・防犯に関する事項</li> <li>・環境整備に関する事項</li> <li>・法人危機管理委員会に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修や派遣研修等の企画実施に関する事項</li> <li>・高齢者支援セミナーの事務局運営に関する事項</li> <li>・法人研修委員会との連携に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課長 担当課員
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の食事に関する事項</li> <li>・食事に関する利用者支援全般に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引等の実施について医療関係者との連携の下で安全確保体制を整備し、常時適切な喀痰吸引業務実施の推進に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	医師 園長 支援部長 看護課長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康管理に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ネットワークの運営管理に関する事項</li> <li>・法人情報ネットワーク委員会との連携</li> <li>・ホームページの運用に関する事項</li> <li>・パソコン運用に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	総務部長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康管理に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 看護課長
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木精華園の広報に関する事項</li> <li>・広報誌ベルデカーレ発行に関する事項</li> <li>・パンフレットの発行に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	総務部長 担当課員
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りの企画運営に関する事項</li> </ul>	担当課員 担当課長

長寿の祝い委員会	・長寿の祝いの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
ラ・フェスタ委員会	・ラフェスタの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
クリスマス委員会	・クリスマスの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
終末期支援	・終末期支援に関する事項 ・その他必要な事項	担当課員 担当課長
運営再編	・運営再編に関する事項 ・その他必要な事項	担当課員 担当課長

5 年度重点目標評価・まとめ

平成29年度重点目標	上半期取組結果(内容)
	平成29年4月～平成29年9月
1 施設支援機能の充実のために	<p>(1)人権擁護・虐待防止の推進            ・虐待防止委員会を毎月開催し、各課の振り返り報告の共有化、人権目標の振り返りを実施            ・特別研修の企画</p> <p>(2)QOLの向上            ・栄養ケアマネジメントについて、主任会分科会にて連携及び支援・看護・調理等の課題を検討。併せてシステムの課題改善も業者と確認した            ・移動式機械浴槽の検証は対象者の体調不良等から未検証、10月以降の利用状況により検討</p> <p>(3)健康・医療支援の充実            ・院内診察や近隣医療機関を利用した医療につなげることができたが異動者が多いため利用者の異変時対応について園全体での訓練を実施            ・医療的ケアの研修においては園内異動者2名のみ終了、基礎研修終了者4名、異動職員6名 生活2課16名を継続して実地研修中</p> <p>(4)指定管理事業の実施            ・「高齢者支援セミナー」開催の毎月開催(速～96施設、161名参加)            ・内容は「利用者の摂食嚥下機能低下へ実践報告」「おむつのあて方」「知的障害者支援施設の看護師業務」「高齢化による身体機能の変化」「食事支援」「摂食嚥下」等座学や体験を交えて開催した            ・応急手当普及員の派遣(4回・6名スタッフ派遣・受講者35名)</p> <p>(5)高齢知的障害者の支援            ・延命処置に関する希望カード・利用者の死亡等にかかわる準備等の流れを家族会で説明し、カードを配布。延命について家族同士で話し合うきっかけとして欲しい事も説明。            ・看取りに関する研修(園プロ3名、他2名)への参加や施設視察(海風会 いちばんふ)を実施            ・これまでに導入してきた福祉機器の定着やインストラクターによる園内研修の実施</p>
2 地域生活支援機能の充実のために	<p>(1)グループホーム事業の充実            ・利用者の安心・安全な生活のための移行支援を実施、2名が介護保険施設へ移行            ・GH再編に係る利用者負担の軽減に努め、混乱なく事業を継続            ・再編後のGHの現状分析と課題整理を実施            ・年々増加傾向にある医療機関の受診や夜間支援での地域支援部との連携            ・非常勤職員の70歳契約終了後の新規雇用での積極的な職員募集(4名の雇用実績(9月末現在)、世話人6枠・夜勤2枠の空枠)            ・行政および介護保険事業所等との密接な連携</p> <p>(2)通所事業の充実            ・利用者の意向に沿った余暇等選択できる活動の提供の促進            ・7～9月期利用相談2件あり。相談支援事業所、養護学校等との連携によるニーズ把握に努め、見学、体験利用の利用促進</p> <p>(3)在宅者支援の充実            ・6月に1件、9月1件、緊急の短期入所のニーズに対応</p> <p>(4)相談支援事業の充実            ・計画相談28件、モニタリング70件の実績            ・市内相談支援事業所および地域包括支援センターとの協働            ・相談支援事業所内事例検討会を隔月で実施</p> <p>(5)地域生活支援機能の強化            ・GH利用者において、今年度、新たに5名が後見人・保佐人が選任、金品証書等の引渡しを実施            ・厚木市障がい福祉課、介護保険課、介護保険事業所、当園にて、GHにおける障害福祉サービスと介護保険サービスの併用についての確認作業を実施、市より併用可との見解あり</p>
3 地域社会と豊かな交流を持つために	<p>(1)地域交流の推進            ・GHが属する地域自治会の総会、夏祭り、防災訓練、美化清掃に参加(美化清掃:4丁目 5/21・7/2・9/24、泉地区美化清掃:7/2、防災訓練:4丁目 9/3・泉地区9/3、4丁目夏祭り:8/10)</p> <p>(2)地域貢献の促進            ・GHが属する藤尾4丁目清掃(5/21・7/2・9/24)、真弓地区自治会清掃(7/2)、草刈(7/23)参加</p> <p>(3)実習やボランティア等の受入れ            ・実習及び介護体験等の受入れ(保育実習生7名、相談支援実習1名、職場体験5名)            ・園内外の行事等へのボランティア参加の随時案内の実施(計82名参加・活用)</p> <p>(4)防災活動における地域との連携            ・6/8、8/29の「みんなで安心まもり隊」全体会を軸に避難所ワーキング、協定施設ワーキング、地域ワーキングの3部会に参画。地域の見守り体制、地域連携の在り方、手法等の模索。概ね20ヶ所の地域資源と協働作業を継続中。</p>
4 着実な施設運営のために	<p>(1)人材確保と育成            ・職員確保に向けた求人活動の促進            ・人材育成及び魅力のある職場づくりのための各種研修の開催及び各種研修への派遣実施            ・内容:新採用・異動職員研修(25名参加)及びフォローアップ研修(20名参加)、非常勤研修(人権擁護:3回40名参加)、応急手当講習会(3回32名参加)、オムツのあて方研修(2回10名参加)(計12回開催・127名受講)            ・応急手当普及員講習新規及び更新(6名受講)            ・上半期外部研修派遣(12件25名参加)</p> <p>(2)労働環境の整備            ・ノー残業デーの推進            ・移乗用リフターおよび浴室シャワーストレッチャー等の定期的に使用方法の確認</p> <p>(3)リスクマネジメント機能の充実            ・防犯対策マニュアルの周知啓発。不審者侵入緊急初動マニュアルの各課掲示。防犯対策チェックリストの各課毎月記入、法人危機管理委員会への集計報告            ・5月園内防災訓練としてALSOK隊員による「まもるっく」赤外線センサー(機械警備)説明と作動訓練実施            ・9月法人総合防災防犯訓練へ参画            ・毎月委員会を開催、ひやりはっと・事故報告・各種訓練を検証</p> <p>(4)経営安定化の推進            ・経営会議の継続実施と利用率の維持向上の推進</p>



<p style="text-align: center;">下半期取組結果(内容)</p> <p style="text-align: center;">平成29年10月～平成30年3月</p>	<p style="text-align: center;">年度 総 括</p>
<p>(1)人権擁護・虐待防止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各課での虐待未然防止対策の取組みの検証を毎月行い、虐待防止委員会への報告を実施</li> <li>人権目標(2ヶ月毎)を設定し、各課の取組み評価等を虐待防止委員会への報告を実施</li> <li>利用者自治会を毎月開催し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供を実施</li> <li>利用者自治会委員会(毎月)、人権委員会(毎月)の開催</li> <li>オンプスマン相談会(毎月)を開催</li> <li>虐待防止委員会を毎月開催し、虐待防止に努めた。</li> <li>「利用者の権利擁護」をテーマに特別研修の実施</li> </ul> <p>(2)QOLの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養ケアマネジメントについて毎月主任会で選考確認と課題整理を実施し、現場への定着が図れた。支援員・栄養士・看護師との連携も強化され、食生活の充実を図った。</li> <li>移動式機械浴槽の購入は使用頻度から2台目の購入は無しとしたが、機械浴槽が使用できない場合も各課で使用でき、入浴支援の幅が広がった。</li> <li>水浴室全てについて、業者による清掃を実施</li> <li>既存の福祉機器のメンテナンスや買い替え等を実施</li> </ul> <p>(3)健康・医療支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>院内診療や外部受診については、地域両機関と連携し対応した。</li> <li>感染症については感染症の講義やインフルエンザ予防接種など対応策として行ったが、2月に感染症が流行し保健所へ報告した。</li> <li>医療的ケアの研修において基礎研修修了者4名中2名実地研修修了。</li> </ul> <p>(4)指定管理事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「高齢者支援セミナー」開催の毎月開催(述べ192施設、321名参加)内容は「成年後見制度へ私たちができること、支援に活かすためには～」、「穏やかに最期を迎えるには」、「高齢者特有の疾患について」、「高齢者のレクレーション」、「介護技術向上のための取り組み」、「終末期支援」等テーマや体験を交えて開催した。</li> </ul> <p>(5)高齢者の障害者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>終末期支援プロジェクトにて、2年間のまとめを行い、当課の取組の在り方を提示した。併せて、高齢者支援セミナーで取組みを発表した。</li> <li>福祉機器の使用について各課にて研修を実施。理学療法士からの指導を受け、拘縮予防やリハビリ方法等を学んだ。</li> </ul>	<p>既ね達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して人権目標(2ヶ月毎)を設定し、各課の取組みを振り返り、高い人権意識の維持向上を図る。</li> <li>利用者自治会の開催やオンプスマン相談会等を活用し、当事者の意見をくみ取り、サービス提供に反映していく仕組みを継続する。</li> <li>栄養ケアマネジメントの定着が図れ、支援・栄養士・看護師の連携により、食生活の充実を図った。</li> <li>入浴支援については、年々、介護度が上がる機械浴槽を使用する方が増えているが、入浴用の福祉機器(シャワーチェア等)を導入し、回数の確保や安全・快適に入浴できるよう取組んだ。</li> <li>医療機関については協力病院への通・入院がほとんどできなくなっている。また近隣の病院でも急速に変化する利用者の対応が難しくなっている。</li> <li>継続して知的高齢者支援施設として、毎月1回高齢者支援セミナーを実施。内高齢研との合同セミナー2回開催し、「高齢者について学ぶ」をテーマに情報の発信に努めた。</li> <li>利用者が高齢化だけではなく、家族の高齢化における課題を整理し、緊急時の連絡先や延命処置への意思疎通等について、課題を整理し、家族等も一緒に考えてもらう機会となった。</li> <li>単日の受診や移行支援を行なうことで緊急搬送や急変リスクの軽減へ繋がった。現状では移行支援、緊急搬送までを当課の取組みとして提案したが、引き続き検討とした。</li> <li>新たな福祉機器の導入までには至らなかったが、既存の機器の活用や安全に使用する為の研修等は取組めた。今後も理学療法士との連携を図りながら、福祉機器の導入等を検討していく。</li> </ul>
<p>(1)グループホーム事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スプリングラーを5ホームに設置</li> <li>2名の世話人を雇用した。</li> <li>4件の体験利用を受入れた。平成30年度中に利用希望が2名あった。</li> <li>新たに介護保険、日中活動事業所の利用を開始した。</li> </ul> <p>(2)通所事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の意向に沿った余暇等を選択できる活動の提供を実施した。</li> <li>養護学校卒業見込み者2名の体験利用を実施し、平成30年4月より1名の利用が確定した。</li> <li>相談事業所、養護学校との依頼に応え、見学、体験利用等のニーズに対応した。</li> </ul> <p>(3)在宅支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績はなかったが、関係機関との連携強化に取組んだ。</li> </ul> <p>(4)相談支援事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画相談65件、モニタリング70件の実績があった。</li> <li>市内相談支援事業所および地域包括支援センターと協働した。</li> <li>相談支援事業所内事例検討会を隔月で実施した。</li> </ul> <p>(5)地域生活支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚木市との連携を図りながら取組んだ。</li> </ul>	<p>既ね達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世話人の新規雇用はあったものの、依然として不足しており継続課題である。</li> <li>利用枠の空きについては、積極的に体験利用を受け新規利用に繋げた。</li> <li>きめ細かな職員間の連携により、利用者ニーズを尊重した支援を実現した。</li> <li>ここ数年の積極的な受入れにより、関係機関の間期待度が高い。引き続き関係機関と連携を密にしていきたい。</li> <li>引き続き、関係機関と連携を図り、緊急時、短期利用の受け入れに備えていく。</li> <li>次年度は、相談員が職員となるため計画的にスムーズな運営を目指す。</li> <li>引き続き、成年後見制度の促進を図る。</li> </ul>
<p>(1)地域交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各GH加入する自治会活動、自治会総会に参加した。</li> </ul> <p>(2)地域貢献の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動、草刈等へ参加した。</li> </ul> <p>(3)実習やボランティア等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な実習や介護体験等の受入れた。</li> <li>保育実習生:1月2名、2月2名、3月2名受入。社会福祉士実習生:2.3月1名、相談援助実習:9.10月1名受入れた。</li> <li>園内外の行事等へのボランティア参加の随時案内の実施(計158名参加・活用)</li> </ul> <p>(4)防犯・防災活動における地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の見守り体制及び災害時の避難体制づくりを目的とした「狭野地区みんなで安心まもり隊」のリーダーとして、地域の関係機関連携の密着化を図り、3/4遊尼4丁目住民を対象とした避難訓練を実施(約300人の参加)</li> <li>狭野地区の協定施設との連携強化を目的とした、狭野地区協定施設連絡会の組織化を検討した。</li> </ul>	<p>既ね達成できた</p> <p>(1)地域交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会活動への積極的な参加を通しGHへの理解を促した。</li> </ul> <p>(2)地域貢献の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動、防犯パトロール等への参加した。</li> </ul> <p>(3)実習やボランティア等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な実習や介護体験等の受入の実施し、福祉人材育成として福祉教育実習の質の向上を目指した。</li> <li>年間実習実績:保育:13名、社会福祉士実習:1名、相談援助実習:1名受入。他、県人材センターや他施設研修受入あり、計20名、述べ176日受入れた。</li> <li>園内外の行事案内は随時行なったが、日私調整から連絡が遅くなった。ボランティア参加者が少なく、継続参加に向けた取組みと新規登録に向けた取組みが今後の課題である。</li> </ul> <p>(4)防犯・防災活動における地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚木市避難行動要配慮者全体計画の執行にあわせ自治会や民生児童委員等との連携を深めることができた。また、昨年度末から継続して取り組んできた狭野地区みんなで安心まもり隊の活動成果として3/4に避難訓練を実施することができた。</li> </ul>
<p>(1)人材確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員確保に向けた求人広告掲載</li> <li>人材育成及び魅力のある職場づくりのための各種研修の開催及び各種研修への派遣実施</li> <li>内容:人権擁護研修(25名)、日中活動の取組(15名)、意思決定支援(15名)、スペース受取(42名)、オプンセンター(12名)、高齢者支援セミナー(321名/年)等研修実施。・下半期外部研修派遣にはサビ管、認定調査、療法、喫煙吸引、給食研修等派遣(年間43名参加)</li> </ul> <p>(2)労働環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノー残業デイの推進 ノー残業ウィークの検討をした。</li> </ul> <p>(3)リスクマネジメント機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水害、土砂災害想定避難訓練を実施。</li> <li>各課会議時防災対策チェックリストを実施。</li> <li>定期的な委員会において各種訓練やひやりはつとの検証を実施。</li> </ul> <p>(4)経営安定化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営会議にて予算および施設維持管理について情報の共有化を図った。</li> </ul>	<p>既ね達成できた。</p> <p>(1)人材確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色々な媒体を活用し求人応募をかけた。引き続き、人材確保に取り組む。</li> <li>人材育成及び魅力のある職場づくりのための各種研修の開催や各種研修への派遣を実施していく。</li> <li>参考年間実績(園内及び外部研修含む)828名、(法人研修員(職員))140名、合計968名を派遣し、研修金両実施。</li> </ul> <p>(2)労働環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノー残業デイが定着したため、ノー残業ウィークを平成30年度より導入していく。</li> </ul> <p>(3)リスクマネジメント機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災対策マニュアルの周知と活用の促進に努めた。</li> <li>水防法改訂に伴い、水害を想定した訓練を実施した。</li> <li>委員会において各種訓練やひやりはつとを定期的に検証した。</li> </ul> <p>(4)経営安定化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営会議を3回実施し、本年度の決算状況を説明するとともに、予算並びに施設維持管理について共有化し、効率的な予算執行に取り組んだ。</li> </ul>

## 6 運営実績

### 1 指定管理事業

#### (1) 実績

(名)

			上半期実績	下半期実績	年間実績
障害者支援施設	施設入所支援	定員	110	110	110
		延べ人数	19,655	19,044	38,699
	生活介護	定員	140	140	140
		延べ人数	17,221	16,110	33,331
短期入所		定員	2	2	2
		延べ人数	211	440	651
		稼働率	58%	121%	89%

※短期入所は空床型の実施を含む

#### (2) 障害支援区分

(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	5	12	32	56	105
生活介護	0	1	10	20	37	67	135

#### (3) 日中一時支援事業

(名)

区分		H28年度	H29年度
		延べ人数	延べ人数
児童	男性		
	女性		
	計		
成人	男性	0	4
	女性	38	29
	計	38	33

### 2 自主事業

#### (1) グループホーム入居者 (8ヶ所)

(名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(㎡)	利用料(食費含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男	17	62.2	6	61,308	73,474	10	8	0	7	7	3
女	14	70.6	6	59,693	78,707	10	6	0	8	2	4
計	31	66.4	6	60,500	76,095	20	14	0	15	9	7

※重複者あり

#### (2) 厚木身体障害者等生活介護事業所

(名)

生活介護	年度	H28年度	H29年度
	定員	20	20
	延べ人数	3,302	3,165

#### (3) サービス等利用計画作成

(件)

	H28年度	H29年度	厚木市	清川村	座間市	秦野市	他市町村
件数	170	83	40	0	0	2	41

### 3 その他

#### (1) 障害者雇用

(名)

区分		H28年度	H29年度
障害者雇用	男	1	1
	女	1	0
	計	2	1

#### (2) 実習生受入

(名)

区分	H28年度	H29年度
実人数	18	20

#### (3) ボランティア受入

(名)

区分	H28年度	H29年度
延べ人数	256	260

#### (4) 見学者受入

(名)

区分	H28年度	H29年度
延べ人数	49	127

#### (5) 養護学校実習生受入

(名)

区分	H28年度	H29年度
延べ人数	3	2

7 決算報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業活動内訳表

(単位：円)

		サービス区分	今年度決算額
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	
		障害福祉サービス等事業収益	978,562,313
		医療事業収益	34,161,315
		経常経費寄附金収益	540,090
		その他の活動収益	
		サービス活動収益計	1,013,263,718
	費用	人件費	714,405,069
		事業費	123,097,127
		事務費	127,143,766
		就労支援事業費用	
		利用者負担軽減額	
		減価償却費	10,479,065
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,398,909
徴収不能引当金繰入金			
その他の費用			
	サービス活動費用計	973,726,118	
	サービス活動増減差額	39,537,600	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	
		受取利息配当金収益	4
		有価証券評価益	
		有価証券売却益	
		投資有価証券評価益	
		投資有価証券売却益	
	その他のサービス活動外収益	9,503,001	
		サービス活動外収益計	9,503,005
	費用	支払利息	
		有価証券評価損	
		有価証券売却損	
		投資有価証券評価損	
		投資有価証券売却損	
その他のサービス活動外費用	6,614,507		
	サービス活動外費用計	6,614,507	
	サービス活動外増減差額	2,888,498	
経常増減差額		42,426,098	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	21,007,000
		施設整備等寄附金収益	
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	
		固定資産受贈額	
		固定資産売却益	
		拠点区分間繰入金収益	
		サービス区分間繰入金収益	
		拠点区分間固定資産移管収益	
	サービス区分間固定資産移管収益		
	その他の特別収益	5,590	
		特別収益計	21,012,590
	費用	基本金繰入額	
		資産評価損	
固定資産売却損・処分損		622,215	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)			
国庫補助金等特別積立金積立額		21,007,000	
災害損失			
拠点区分間繰入金費用		32,622,000	
サービス区分間繰入金費用			
拠点区分間固定資産移管費用			
サービス区分間固定資産移管費用			
その他の特別損失	1,637,820		
	特別費用計	55,889,035	
	特別増減差額	△34,876,445	
当期活動増減差額		7,549,653	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額		333,178,478
	当期末繰越活動増減差額		340,728,131
	基本金取崩額		
	その他の積立金取崩額		12,000,000
	その他の積立金積立額		
次期繰越活動増減差額		352,728,131	

# 8年間事業取組結果

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1日(土)		1日(月)		1日(木)	夏まつり委員会①	1日(土)		1日(火)	ノー残業ディ 運営会議	1日(金)	ラ・フェスタ委員会④
2日(日)		2日(火)	ノー残業ディ 運営会議	2日(金)	ラ・フェスタ委員会①	2日(日)		2日(水)	健康・医療安全委員会	2日(土)	
3日(月)	辞令交付 対面式 防火装置説明	3日(水)	憲法記念日	3日(土)		3日(月)	新採、異動職員フォローアップ②	3日(木)	課リーダー会議	3日(日)	
4日(火)	部課長会 健康・医療安全委員会	4日(木)	みどりの日	4日(日)		4日(火)	部課長会 健康・医療安全委員会	4日(金)		4日(月)	ノー残業ディ 運営会議
5日(水)	研修委員会	5日(金)	こどもの日	5日(月)	健康・医療安全委員会	5日(水)	経営会議(AM) ノー残業ディ・運営会議	5日(土)		5日(火)	部課長会 前日準備 メンタルヘルス研修14:00
6日(木)	人権委員会	6日(土)		6日(火)	職員健康診断③ 部課長会 情報ネットワーク委員会	6日(木)	課リーダー会議	6日(日)	家族会(墓参り)	6日(水)	長寿の祝い
7日(金)	ノー残業ディ・運営会議AM サービス利用・虐待防止	7日(日)		7日(水)	ノー残業ディ 運営会議	7日(金)	夏まつり委員会②	7日(月)		7日(木)	課リーダー会議
8日(土)		8日(月)	健康・医療安全委員会	8日(木)	課リーダー会議	8日(土)		8日(火)		8日(金)	利用者自治会委員会
9日(日)	家族会・第三者委員 地域サービスコンサート	9日(火)	部課長会 広報委員会	9日(金)	ふれあいフェス反省会 研修委員会	9日(日)	家族会	9日(水)		9日(土)	
10日(月)		10日(水)	研修委員会	10日(土)		10日(月)		10日(木)		10日(日)	各課利用者自治会
11日(火)	新採用・異動職員研修	11日(木)	環境美化 課リーダー会議	11日(日)	家族会懇親会(食事会) 各課利用者自治会	11日(火)	サービス利用・虐待防止 夏まつり前日準備	11日(金)	山の日	11日(月)	健康・医療安全委員会
12日(水)	新採用・異動職員研修	12日(金)	ふれあいフェス準備 サービス利用・虐待防止	12日(月)		12日(水)	夏まつり2017	12日(土)		12日(火)	サービス利用・虐待防止
13日(木)	課リーダー会議	13日(土)	ふれあいフェスティバル	13日(火)	普通救命講習会①	13日(木)	食事委員会	13日(日)	各課利用者自治会	13日(水)	食事委員会
14日(金)	ふれあいフェス実行委員会 防災訓練・リスクM委員会	14日(日)	家族会総会	14日(水)	サービス利用・虐待防止	14日(金)	ラ・フェスタ委員会②	14日(月)	ラ・フェスタ委員会③	14日(木)	研修委員会
15日(土)		15日(月)		15日(木)	人権委員会	15日(土)		15日(火)	サービス利用・虐待防止	15日(金)	ラ・フェスタ委員会⑤
16日(日)	各課利用者自治会	16日(火)	ノー残業ディ 運営会議	16日(金)	衛生委員会	16日(日)		16日(水)	高齢者支援セミナー	16日(土)	
17日(月)	行事担当者会議①	17日(水)	高齢者支援セミナー	17日(土)		17日(月)	海の日	17日(木)	人権委員会	17日(日)	
18日(火)	ノー残業ディ 運営会議	18日(木)	利用者自治会委員会	18日(日)		18日(火)	ノー残業ディ・運営会議AM プロジェクトA	18日(金)	長寿の祝い準備委員会②	18日(月)	敬老の日
19日(水)	高齢者支援セミナー	19日(金)	非常勤研修①AM プロジェクトA	19日(月)	プロジェクトA	19日(水)	高齢者支援セミナー 衛生委員会	19日(土)		19日(火)	ノー残業ディ 運営会議
20日(木)	情報ネットワーク委員会	20日(土)		20日(火)	ノー残業ディ 運営会議	20日(木)	利用者自治会委員会	20日(日)		20日(水)	高齢者支援セミナー 衛生委員会
21日(金)	主任会議	21日(日)	各課利用者自治会	21日(水)	デザートテラス	21日(金)	主任会議	21日(月)	研修委員会	21日(木)	情報ネットワーク委員会
22日(土)		22日(月)	職員健康診断① プロジェクトB	22日(木)	普通救命講習会②	22日(土)		22日(火)	ノー残業ディ 運営会議	22日(金)	主任会議
23日(日)		23日(火)	非常勤研修②AM 食事委員会	23日(金)	プロジェクトB	23日(日)	各課利用者自治会	23日(水)	広報委員会③	23日(土)	秋分の日
24日(月)	後援会役員会PM	24日(水)	施設連絡会・Aネット総会 防犯訓練・防災委員会	24日(土)		24日(月)	長寿の祝い委員会①	24日(木)	厚木地区職員交流会 プロジェクトA	24日(日)	家族会(美化清掃)
25日(火)	環境美化 臨時職員会議・課会議	25日(木)	主任会議	25日(日)		25日(火)	研修委員会	25日(金)	主任会議	25日(月)	
26日(水)	衛生委員会	26日(金)	非常勤研修③PM 衛生委員会	26日(月)	新採、異動職員フォローアップ①	26日(水)	プロジェクトB	26日(土)		26日(火)	プロジェクトA
27日(木)	プロジェクトA	27日(土)		27日(火)	主任会	27日(木)	防災訓練・防災委員会	27日(日)		27日(水)	プロジェクトB
28日(金)	生活介護利用者懇談会 プロジェクトB	28日(日)		28日(水)	高齢研役員会 高齢者支援セミナー	28日(金)	環境美化 特別研修・職員会議 課会議	28日(月)	防災訓練・リスクM委員会	28日(木)	AM避難訓練・炊き出し 環境美化 特別研修・職員会議・課会議
29日(土)	昭和の日	29日(月)	地域交流レクDAY	29日(木)	AM避難訓練・放水訓練 環境美化・課会議	29日(土)		29日(火)	衛生委員会	29日(日)	防災委員会
30日(日)		30日(火)	ノー残業ディ 運営会議	30日(金)	リスクM委員会	30日(日)		30日(水)	プロジェクトB	30日(土)	
		31日(水)	職員健康診断② 特別研修・職員会議 課会議			31日(月)	広報委員会②	31日(木)	環境美化・課会議		



10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日(日)		1日(水)	健康・医療安全委員会	1日(金)	健康・医療安全委員会	1日(月)	元旦	1日(木)	健康・医療安全委員会	1日(木)	健康・医療安全委員会
2日(月)	ラ・フェスタ委員会⑥	2日(木)	環境美化 課リーダー会議	2日(土)		2日(火)		2日(金)		2日(金)	部課長会 食事委員会
3日(火)	部課長会 健康・医療安全委員会	3日(金)	文化の日	3日(日)		3日(水)		3日(土)		3日(土)	Aネットセミナー
4日(水)	ノー残業ディ 経営会議AM 運営会議	4日(土)		4日(月)		4日(木)	仕事始め	4日(日)		4日(日)	
5日(木)	課リーダー会議	5日(日)		5日(火)	ノー残業ディ 運営会議	5日(金)		5日(月)	ノー残業ディ 運営会議	5日(月)	利用者自治会委員会 非常勤契約BPM
6日(金)	前日準備	6日(月)	食事委員会	6日(水)	研修委員会	6日(土)		6日(火)	部課長会 研修委員会	6日(火)	施設連絡会 研修委員会
7日(土)	ラ・フェスタ、第三者委員 厚木市障害者体育大会	7日(火)	部課長会 研修委員会	7日(木)	課リーダー会議	7日(日)		7日(水)	デザートテラス	7日(水)	ノー残業ディ 運営会議
8日(日)		8日(水)	サービス利用・虐待防止	8日(金)	部課長会 人権委員会	8日(月)	成人の日	8日(木)		8日(木)	課リーダー会議
9日(月)	体育の日	9日(木)	利用者自治会委員会	9日(土)		9日(火)	ノー残業ディ 運営会議	9日(金)	生活介護利用者懇談会 人権委員会	9日(金)	広報委員会 非常勤契約BPM
10日(火)		10日(金)	広報委員会	10日(日)	家族会	10日(水)		10日(土)	建国記念日	10日(土)	
11日(水)	サービス利用・虐待防止	11日(土)		11日(月)		11日(木)		11日(日)	家族会	11日(日)	春の宴
12日(木)		12日(日)	家族会	12日(火)	サービス利用・虐待防止AM 前日準備	12日(金)		12日(月)		12日(月)	
13日(金)	人権委員会	13日(月)		13日(水)	クリスマス会	13日(土)		13日(火)	サービス利用・虐待防止	13日(火)	サービス利用・虐待防止
14日(土)		14日(火)	ノー残業ディ 運営会議	14日(木)		14日(日)	家族会	14日(水)		14日(水)	高齢研・高齢者支援セミナー
15日(日)	各課利用者自治会	15日(水)	高齢研・高齢者支援セミナー	15日(金)	情報ネットワーク委員会	15日(月)		15日(木)		15日(木)	非常勤契約日AM プロジェクトA
16日(月)	職員調査 研修委員会	16日(木)	プロジェクトA	16日(土)		16日(火)	新年会各課 サービス利用・虐待防止	16日(金)	主任会議	16日(金)	後援会役員会PM
17日(火)	職員調査 クリスマス委員会①	17日(金)	クリスマス委員会②	17日(日)	各課利用者自治会	17日(水)	施設連絡会 高齢者支援セミナー	17日(土)		17日(土)	
18日(水)	職員調査 高齢者支援セミナー	18日(土)		18日(月)	行事委員会② 衛生委員会	18日(木)	利用者自治会委員会	18日(日)	各課利用者自治会	18日(日)	各課利用者自治会
19日(木)	職員調査 主任会	19日(日)	各課利用者自治会	19日(火)	ノー残業ディ 運営会議	19日(金)	主任会議	19日(月)	衛生委員会	19日(月)	ボランティア懇談会
20日(金)	ノー残業ディ 運営会議	20日(月)	非常勤研修PM	20日(水)	高齢者支援セミナー	20日(土)		20日(火)	防災訓練・リスクM委員会	20日(火)	ノー残業ディ 運営会議
21日(土)		21日(火)	職員健康診断② 甲監査	21日(木)	防災訓練・リスクM委員会	21日(日)	各課利用者自治会	21日(水)		21日(水)	春分の日
22日(日)		22日(水)	防災訓練・防災委員会	22日(金)	成年後見制度研修 環境美化・課会議	22日(月)		22日(木)	環境美化・課会議	22日(木)	プロジェクトB
23日(月)	広報委員会	23日(木)	勤労感謝の日	23日(土)	天皇誕生日	23日(火)	ノー残業ディ 運営会議	23日(金)	広報委員会	23日(金)	特別研修・職員会議 課会議・環境美化
24日(火)	地域交流レクディ 衛生委員会	24日(金)	主任会議	24日(日)		24日(水)	研修委員会	24日(土)		24日(土)	
25日(水)	プロジェクトA	25日(土)		25日(月)	プロジェクトA	25日(木)	プロジェクトA	25日(日)		25日(日)	
26日(木)	職員健康診断① 感染症研修 環境美化・課会議	26日(日)		26日(火)	主任会	26日(金)	防災訓練・防災委員会	26日(月)	プロジェクトA	26日(月)	衛生委員会
27日(金)	防災訓練・リスクM委員会	27日(月)	職員健康診断③ プロジェクトB	27日(水)	プロジェクトB	27日(土)		27日(火)	ノー残業ディ 運営会議	27日(火)	主任会議
28日(土)		28日(火)	ノー残業ディ 運営会議	28日(木)	仕事納め	28日(日)		28日(水)	経営会議AM プロジェクトB	28日(水)	防災訓練・防災委員会
29日(日)		29日(水)	衛生委員会	29日(金)		29日(月)	衛生委員会			29日(木)	
30日(月)	プロジェクトB	30日(木)	特別研修・職員会議 課会議	30日(土)		30日(火)	プロジェクトB			30日(金)	
31日(火)	ノー残業ディ 運営会議			31日(日)		31日(水)	特別研修・職員会議 課会議・環境美化			31日(土)	

## 9 会議・委員会等取組結果

※H29年度開催日については年間事業取組結果参照

会議等名	取組内容／結果	備考
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>園運営上の課題を管理職で月2回検討した。</li> <li>法人諸会議、各課、各委員会報告を行い必要事項を確認した。</li> </ul>	
経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算並びに施設維持管理、加算状況を共有化し、効率的な予算執行に努める。</li> <li>年間3回会議を開催した。</li> </ul>	
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期計画の進行管理に努める。</li> <li>成年後見人の進捗、情報管理に努める。</li> </ul>	
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体への周知、連絡事項を確認した。</li> <li>園長からの職員に対しての伝達をした。</li> </ul>	
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課、課長、主任、グループリーダーで課運営に関する事項やグループ会議での連絡事項等を確認した。</li> </ul>	
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個々の支援について確認、検討をした。</li> <li>個別支援計画、身体拘束の確認、検討をした。</li> <li>栄養ケアマネジメントに関して確認、検討をした。</li> </ul>	
課会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>課運営に関して確認、検討をした。</li> <li>利用者支援に関して確認、検討をした。</li> </ul>	
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所希望者の受入れについて確認、検討をした。</li> <li>利用者のサービスに関して、確認、検討をした。</li> </ul>	
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に園内行事に関して、確認、検討をした。</li> <li>年度末に次年度に向けての園内行事に関して、確認、検討をした。</li> </ul>	
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働環境、健康に関して、確認、検討をした。</li> <li>交通安全に関する研修を開催をした。</li> </ul>	
虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課虐待防止の対策、支援の振り返りを報告をした。</li> <li>虐待防止について共有し防止に努める。</li> </ul>	
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権目標を2ヶ月間設定し各課で振り返りを実施した。</li> <li>人権自己チェックリスト、利用者満足度調査を実施した。</li> </ul>	
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、各課で利用者自治会を実施した。</li> <li>利用者自治会主催の園行事を開催した。</li> </ul>	

リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはつと報告の分析し共有化をはかり防止策に努めた。</li> <li>・環境整備、危険個所の点検を実施した。</li> </ul>	
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、避難訓練を実施した。</li> <li>・防犯、災害に関して、確認、検討をした。</li> <li>・環境整備、備品の管理をした。</li> </ul>	
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を企画、実施した。</li> <li>・高齢者支援セミナーの企画、運営を実施した。</li> <li>・法人研修委員会と連携した取り組みを実施した。</li> </ul>	
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の食事に関して、確認、検討をした。</li> <li>・食事提供、マナー等に関して、確認、検討した。</li> </ul>	
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引等に関して、確認、検討した。</li> <li>・医療ひやりはつと報告を確認、検討した。</li> </ul>	
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康に関して、確認、検討した。</li> <li>・利用者緊急時対応訓練を全課協力して取り組んだ。</li> </ul>	
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ネットワークに関して、確認、検討した。</li> <li>・パソコン、ホームページに関して、確認、検討した。</li> </ul>	
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌ベルデカーレの発行を実施した。</li> <li>・パンフレットを一部修正を行った。</li> </ul>	
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつりの企画、運営を行った。</li> </ul>	
長寿の祝い委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿の祝いの企画、運営を行った。</li> </ul>	
ラ・フェスタ委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラ・フェスタの企画、運営を行った。</li> </ul>	
クリスマス委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマス会の企画、運営を行った。</li> </ul>	
終末期支援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期支援に関して、延命処置に関する希望カード、葬儀の流れ、退所後のサービスのあり方について確認、検討した。</li> </ul>	
運営再編プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寮の再編に関して、確認、検討した。</li> </ul>	



10 各課年度重点目標／取組結果

課名	年度重点目標／取組結果
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な予算の執行管理に努めます。</li> <li>⇒経営会議を活用し執行状況を確認し予算管理を行いました。</li> <li>・自立支援費の確実な請求及び効率的な事務処理を行います。</li> <li>⇒請求ソフトと手持ちデータを作成し、請求漏れ・誤りのないように努めました。</li> <li>・施設並びに設備の効率的な維持に努めます。</li> <li>⇒県計画営繕並びに園内修繕計画により計画的に改修・維持に努めました。</li> </ul>
栄養調理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者への優しい食事『口どけ食』の更なる改善と献立、調理方法の改善に努めます。</li> <li>⇒利用者さんの状態の変化に対応できる様、会議等で検討、周知しました。</li> <li>・温冷配膳車導入後の振り返りと更なる進化に努めます。</li> <li>⇒乾燥を防ぐ為に蓋をしたり、より良い状態で食べて頂ける様努力しました。</li> <li>・栄養ケアマネジメント実施で個々の利用者に適した食事提供に努めます。</li> <li>⇒個別の栄養管理に取り組み、定期的リスクを判定、確認し栄養状態の改善の為、多職種で情報を共有し健康維持に努めました。</li> </ul>
相談研修課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援セミナーを企画、運営し高齢知的障害者について情報発信、研修を企画、立案します。</li> <li>⇒「高齢者支援セミナー」の毎月開催や外部発表をし情報発信に努めました。</li> <li>・福祉人材育成として社会福祉士養成実習をはじめとした福祉教育実習の質の向上を目指します。</li> <li>⇒各種養成校からの実習や職場体験実習を受け入れ福祉人材の育成につながるよう努めました。</li> <li>・高齢知的障害者に特化したサービスの質の向上のため高齢知的障害者の支援と介護技術のための研修企画および生活の質の向上を目的に社会資源の活用をします。</li> <li>⇒実践で活かせるような内容を検討しながら研修企画をし、支援の質があがるよう努めました。</li> <li>・施設利用窓口として多様なニーズを抱えた利用者の相談に応え受入れを行えるよう努めます。</li> <li>⇒施設等のサービス利用に関する相談や移行支援、虐待等の相談についてニーズを伺いながら調整を図りました。</li> </ul>
生活1課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な生活の場を提供に努めます。</li> <li>⇒寮内清掃、特にトイレの清掃、廊下など定時外での清掃を行うことができました。一方でレジオネラ菌発生に伴い加湿器の掃除、浴室の清掃をより丁寧に行うようにしました。</li> <li>・人権に配慮した支援に努めます。</li> <li>⇒虐待防止の取り組みとして、課会議でテーマに沿った意見交換を行ない、また食事介助や移乗等の介護技術の向上に努めました。</li> <li>・余暇を工夫し、楽しい時間の提供に努めます。</li> <li>⇒外出の機会が少なくなりましたが、出前を利用して昼食時間をゲストハウスでゆっくり過ごすように努めました。</li> <li>・医療と連携し、安心な暮らしに努めます。</li> <li>⇒日々のバイタルチェックなどのデータをもとに看護課と連携し早めの対応に努めました。</li> <li>・口腔ケアで誤嚥防止に努めます。</li> <li>⇒口腔ケア推進士の職員を中心に歯磨きを丁寧に行いました。</li> </ul>
生活2課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援振り返りや見直しを定期的に行い、虐待防止や人権擁護について、意識の向上や理解を深めます。</li> <li>⇒毎月、課会議にて虐待防止に関して議論し、意識の向上に努めた。併せて支援の振り返りや介護技術の確認を行い、知識や介護技術の向上を図りました。</li> <li>・安心、安全な暮らしができるよう環境整備や見守り体制の強化を図り、課全体において支援の質を高めます。</li> <li>⇒共有スペースや食堂の配置を定期的に見直し車椅子の修理・作成に取組みました。</li> <li>・知識の習得及び技術、観察力や気づきの更なる向上を図り、課全体において支援の質を高めます。</li> <li>⇒異変時対応訓練を毎月実施し、気づきの部分について確認した。医療的ケアや食事介助の技術に関し、意識を高めて取組み看護課との連携を強化しました。</li> <li>・個々の快適や楽しみ、余暇へ目を向け、充実を図ります</li> <li>⇒個別外出、在宅介護マッサージ、有償外出サービスの利用増を図りました。</li> <li>・既往歴を把握し、疾病の早期発見、治療へ繋げるために情報収集と伝える力の向上を図ります。</li> <li>⇒個別健康記録表を改善し、バイタル・食事量等データとして情報提供しました。</li> </ul>

生活3課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化する利用者の状態把握と健康上のニーズに応じた支援の充実に努めます。</li> <li>⇒きめ細かいバイタルチェックの積み重ねから、早期の体調不良や変化に対応しました。</li> <li>・「生きがい」や「楽しみ」を感じられる場の提供に努めます。</li> <li>⇒ニーズに応じた日帰り・一泊旅行を提供し、生きがい及び楽しみを実感して頂きました。</li> <li>・リスクの情報共有と記録分析に注力し、必要に応じて即応しつつ、予防に努めます。</li> <li>⇒記録やヒヤリハット報告の積み重ねから傾向を予測し、事故防止に努めました。</li> <li>・生き辛さを抱えた方々の安定した生活基盤を築きながら、支援技術の向上を目指します。</li> <li>⇒各利用者の経済基盤に即したサービスを提供し、意思決定を重視した支援を構築に取り組みました。</li> <li>・新体制において、サービスの質や安全性の向上を図りつつ、安定した業務体制の確立を利用者ニーズに合わせた形で実現します。</li> <li>⇒業務マニュアル等も見直し、求められるニーズにも即応し、業務体制の安定化を図りました。</li> </ul>
日中支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日中のすごし」の充実、利用者満足度を上げる取組みをします。</li> <li>⇒プログラムの見直しを適宜実施し、利用者が満足できるよう活動内容の改善・拡大に向け取組みました。</li> <li>・地域住民や事業所等との交流・貢献を図ります。</li> <li>⇒施設連絡会への参画や行事等へのボランティアのコーディネートを図りました。</li> <li>・課体制の改善及び職員のスキルアップを目指します。</li> <li>⇒毎月の会議を通して業務内容の見直しや効率化を図りつつ、専門知識・技術、人権・権利擁護の意識の向上に努めました。</li> </ul>
看護課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢に伴う身体機能の低下防止や健康の維持・増進を図ります。</li> <li>⇒定期健診や受診を行い利用者の健康管理・職員への助言を行った。緊急通院や入院などの受け入れてくれる医療機関の連携には厳しい状況がありました。</li> <li>・安全な医療的ケア研修実施が出来るよう職員のスキルアップを目指します。</li> <li>⇒年間計画の沿って手技の見直し・手洗い・座学の振り返りなど行った。職員一人ひとりが振り返り確認することに取り組みました。</li> </ul>
地域生活支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の地域生活を支える体制作りをしていきます。</li> <li>⇒外部資源と連携を密にし、余暇の充実に地元自治会活動に積極的に参加しました。</li> <li>・入居者本位の支援を推進していきます。</li> <li>⇒成年後見人選任5名、移行支援7名、新規利用1名、体験利用随時受けました。</li> <li>・支援者のスキルアップをしていきます。</li> <li>⇒世話人研修、緊急時対応訓練、非常勤研修を実施しました。</li> </ul>
相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本位の「寄り添う」相談支援をしていきます。</li> <li>⇒傾聴を基本とし、様々な角度からの分析に努め、より良い支援に繋がりました。</li> <li>・相談支援専門員の資質向上を目指します。</li> <li>⇒3障害全てにおいて障害特性、制度等の理解に努め、支援に繋がりました。</li> <li>・他職種・他事業所との協働をしていきます。</li> <li>⇒地域包括ケア社会実現に向け、他事業所との連携を密に図りました。</li> </ul>
厚木市身体障害者等生活介護事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者支援の充実に努めます。</li> <li>⇒「自立支援プログラムの充実」「外出の企画」「活動内容の見直し」等、自治会や一人ひとりの利用者の声を尊重した支援を実践しました。</li> <li>・権利擁護・虐待防止への取組みの推進に努めます。</li> <li>⇒満足度アンケートを実施し、結果を受けて見直し、より丁寧な支援を心掛けました。</li> <li>・スキルアップへの取組みに努めます。</li> <li>⇒「高次脳機能障害」等、神奈川総合リハビリテーション事業団の高度な知識を必要とする研修に参加しました。介護福祉士等の福祉系の資格に多くの職員が挑戦しました。</li> <li>・ボランティア活動の推進に努めます。</li> <li>⇒月に1回以上の定期的なボランティアの参加を維持し、「とまと」の活動内容を知っていただくために、福祉系の学校にボランティアの募集のチラシを配布しました。</li> </ul>

## 11 人権・権利擁護

### (1) 取組内容

#### ア 人権委員会

##### (ア) 目的

権利擁護に関する諸活動を行なうことにより、利用者固有の尊厳を尊重することを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・2か月ごとに 人権・権利擁護目標を設定し周知徹底の後、振り返り及び効果の検証をした。
- ・オンブズマン相談会の運営に協力し、利用者の意見や要望を多くみ取れるように尽力した。
- ・ご家族含め満足度調査を実施し、集計及び精査をし、開示及び支援に活かすようにした。
- ・人権意識向上につながるよう、委員会主催の人権擁護研修を開催した。

#### イ 虐待防止委員会

##### (ア) 目的

虐待防止に係る体制作り、チェックとモニタリング、虐待(不適切な対応事例)発生後の対応及び再発防止を図ることを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・各課、課会議にて虐待防止の振り返りを議論し取組みを虐待防止委員会に報告し虐待防止、意識の向上に努めた。
- ・オンブズマン相談会を毎月実施し利用者からの声を直接聞いてもらうように努めた。
- ・人権チェックリストを各自実施し人権擁護、虐待防止に努めた。

#### ウ 利用者自治会委員会

##### (ア) 目的

会員相互の親睦融和を図りながら、生活をより豊かなものへとする為に、様々な行事を企画します。また、会員の要望に基づき園に対して意見具申等を行うことを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・各課自治会(ひまわり会)を月に1回開催し、利用者からの意見を多くみ取れるように配慮した。
- ・役員を中心に園内行事の役割(司会等)を担ってもらい、利用者が主役の行事になった。
- ・自治会を通じ、利用者からのニーズに応じ、訪問販売(衣類)やコンサートを實現した。

### (2) 苦情・要望報告

		苦情・要望内容区分					合計
		職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
申 出 人	利用者本人						0
	家族	1					1
	その他						0
	計	1	0	0	0	0	1

(3) 人権・権利擁護目標・効果

月間目標		効果
4月	心のこもったあいさつをしましょう	・挨拶を意識することで、利用者にとっても支援員にとっても挨拶の重要性を再確認することができた。また、「心のこもった挨拶」という基本に立ち返ることで、気持ちを新たにすることもできた。
5月		
6月	服装を整えてこころもきれいに！	・利用者の服装、職員の身だしなみは職員の支援姿勢が反映していることを念頭に支援をおこなうことができた。服装が整うと気持ちも整うことが再認識できた。
7月		
8月	よかったね、その言葉その行動	・何事に対してもポジティブな声かけをするよう意識を高めることができた。その言葉かけが、利用者の立場になって、本当に良かったのかを振り返ることにもつながった。
9月		
10月	自分で決めるってうれしい、楽しい！意思決定を尊重しよう	・日々の支援において、選んでもらうよう選択肢を増やす努力を繰り返し、利用者の意思確認を積み重ねました。選択肢を示すことが出来なくても、利用者が「何をしたいのか等」を伺ってから支援する等、支援姿勢にも変化が現れました。
11月		
12月	行動の前に深呼吸～6秒数えて心を落ち着けよう～	・6秒数え、支援員が心を整えてから支援にあたることで、アンガーマネジメントの実践につながり、不適切な支援等の防止になった。
1月		
2月	来ていますか？安心できる言葉づかい	・利用者と同じ目線で、ゆっくりと落ち着いて、丁寧に声をかけることで、安心感を与えられるように支援に取り組む姿が増えた。
3月		

## 12 危機管理・安全対策

### (1) 取組内容

#### ア リスクマネジメント委員会

##### (ア) 目的

利用者支援、施設整備面における事故防止対策の確立。事故発生時の対応及び利用者の人権尊重の立場に立ったサービスの質の向上に向けたシステム構築を図ることを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・危険予知訓練「ひやりはっと報告」レベル2以上について予防策を考えました。
- ・「事故報告」のデータ分析を行い再発防止に向け話し合いました。
- ・各課において、生活環境の整備、改善に努めることで事故防止対策の確立に努めました。

#### イ 防災委員会

##### (ア) 目的

職員に対して防火、防災意識を徹底させて、指導や管理を行う。また、防災訓練・研修を通じて、園内の構造及び避難施設に関すること等、必要な事項について取組むことを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・毎月1回、火災・地震等、さらに昼間や夜間を想定した防災訓練を実施しました。
- ・土砂災害危険区域に入っていることもあり 災害を想定した避難訓練を行いました。
- ・災害発生時に備えた必要な防火備品および非常食材の入れ替え、炊き出し訓練を行いました。
- ・法人総合防災防犯訓練にへ参画

### (2) 事故防止等対策

- ・防犯対策マニュアルの周知啓発および不審者侵入緊急初動マニュアルを各課に掲示しました。
- ・防犯対策チェックリストを毎月各課で実施し法人危機管理委員会へ報告を行いました。
- ・園内防犯訓練でALSOK隊員による「まもるっく」「赤外線センサー(機械警備)」の説明と作動訓練を行いました。

### (3) ひやりはっと報告

(件)

報告数	負傷	服薬	誤嚥	誤飲食	物品破損	物品紛失	所在不明	医療	その他
597	248	133	37	6	18	59	38	33	25

### (4) 事故報告

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品破損	病気入院・死亡
	骨折	やけど・燙傷・打撲等	飲ませ間違い	飲ませ忘れ飲みこぼし						
48	14	11	2	8	0	0	1	3	3	6

## (5) 防災・防犯訓練実施報告

実施日	訓練内容	担当
4月1日	新採用・異動職員への消防設備等の説明	総務課
4月14日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
5月24日	グループホーム避難訓練（そら）	地域生活支援課
5月24日	シェイクアウト訓練、防犯機器使用手順確認、避難訓練	生活2課
6月29日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 放水訓練	生活3課
7月27日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	日中支援課
8月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
9月27日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
9月28日	避難、誘導炊き出し訓練	総務課
10月27日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難（夜間想定）	生活3課
11月22日	浸水害、土砂災害想定避難訓練	日中支援課
11月30日	グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用方法	地域生活支援課
12月21日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	生活2課
12月30日	グループホーム避難訓練（そら、めい） グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用方法	地域生活支援課
1月26日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	日中支援課
1月29日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
2月26日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
3月28日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
3月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活3課

\*アルソック安否確認メールは毎月実施

### 13 職場研修実績

#### (1) 園内研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
新採用・異動職員研修	4/11.12	25	
新採用・異動職員フォローアップ研修	6/26.7/3	20	
基礎研修・おむつのあて方	5/22.6/9	10	
非常勤研修	5/19.23.26	40	
交通安全研修	5/31	30	
普通救命講習	6/13.15.22	32	
メンタルヘルス研修	7/28	32	
腰痛予防研修	9/28	42	
感染予防研修	10/26	38	
基礎研修・日中活動の取組	11/30	29	
成年後見制度	12/22	39	
意思決定支援	1/19	15	
人権研修	1/30	25	
個人記録の書き方	2/22	33	
スパイス愛で調理	3/23	42	
合計		452	



## (2) 外部研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
神奈リハ支援センター研修	6/13.20	3	
サービス管理責任者補足研修	6/22-23	1	
サービス管理責任者補足研修	12/7-8	2	
サービス管理責任者研修	①10/26-27 ②1/30、2/8-9	2	地域生活 各回1名
サービス管理責任者研修	①3/15-16 ②2/16、3/6-7	2	介護分野 各回1名
関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	7/13-14	3	
これは知っておきたい障害者総合支援法の基礎のキノ	7/19	2	
障害福祉施設協議会新任職員研修会	9/25.10/19	1	
スーパーバイザー研修	9/5.19、 10/17.11/15	1	
障害福祉職員実践報告会	12/18	1	
応急手当普及員講習会(新規)	8/1-3	2	
応急手当普及員講習会(再講習)	6/10、24	4	各日2名
福祉職専門研修(基礎)	7/31、8/21.28	3	各日1名
福祉職専門研修(中堅)	8/24,9/7	2	各日1名
県強度行動障害支援者養成研修(実践)	8/3-4	1	
県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	9/25-26 11/13-14	2	各回1名
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	10/30-31	2	
県立施設間交流研修	11/28-29	1	中井やまゆり園
障害者支援施設施設部会全国大会	H30.1/29-30	1	高知大会
触法研修	H30.2.15	1	
社会福祉法人佛子園視察見学	H30.1.29	8	
相談支援専門員専門コース別権利擁護	H30.3.22	5	意思決定支援
相談支援専門員初任者研修	7/27-28 8/16-17他	1	
障害者支援区分認定調査員研修	10/18	1	
障害事業所基本研修会	9/28	1	
介護施設でのターミナルケア期の 意思決定支援と看取りケアセミナー	7/22	2	
給食研修会	3/15	2	
喀痰吸引		4	
高齢者支援セミナー		321	毎月1回開催
オープンセミナー	H30.2.16	12	
合計		394	

14 ボランティア活動受入実績

(1) 行事

名称	内容	活動日	(件) (名)	
			件数	人数
厚木市民吹奏楽団演奏会	演奏会	4月9日	1	20
ふれあいフェスティバル	模擬店補助(雨天中止)	5月13日		
地域交流レクリエーション	創作活動・昼食	5月29日	1	1
デザートテラス	茶菓子提供補助	6月21日	1	0
夏まつり2017	模擬店補助等	7月12日	1	5
長寿の祝い	利用者支援補助、調理補助等	9月5・6日	1	13
ラ・フェスタ	利用者支援補助、調理補助等	10月6・7日	1	33
地域交流レクリエーション	利用者交流(カラオケ)・昼食	10月24日	1	3
クリスマス会	利用者支援補助、調理補助等	12月13日	1	8
デザートテラス	茶菓子提供補助	2月4日	1	4
荻野中学校吹奏楽部演奏会	演奏会	3月11日	1	54
ボランティア懇談会	懇談・昼食会	3月19日	1	5

(2) 日常

内容	活動日	(件) (名)	
		件数	人数
日中活動支援 ・活動支援、作業補助	随時	5	5
日中活動支援 ・刺し子	月2回程度	23	23
余暇活動 ・喫茶おはなし	月1回程度	9	14
余暇活動 ・ファミリーマート売店	月1回程度	7	26
日中活動支援 ・清掃	随時	2	5
余暇活動 ・ガイドヘルパー外出	随時	9	14

15 実習生・研修生等受入実績

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
		聖ヶ丘教育福祉専門学校 1名 (11日間) 6/5-6/16																													
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
		鶴見大学短期大学部 2名 (11日間) 7/31-8/12																國学院大学 2名 (11日間) 8/14-8/25													
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		鎌倉女子大学 1名 (11日間) 9/4-9/15																日本福祉大学 1名 (24日間) 9/11-10/13													
		鎌倉女子大学短期大学 1名 (11日間) 9/4-9/15																													
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
		日本福祉大学 1名 (24日間) 9/11-10/13																													
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
													聖セシリア女子短期大学 2名 (11日間) 1/15-1/26																		
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
													和泉短期大学 2名 (12日間) 2/13-2/28																		
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		湘北短期大学 2名 (10日間) 3/1-3/14																													

16 地域サービス事業取組結果

No.	事業名	事業内容	取組結果
1	専門スタッフ地域巡回支援事業	PT(理学療法士)や看護師、相談専門員が事業所を訪問し、医療的ケアの最新情報や支援技術についての情報提供及び機能訓練等を行い、地域生活を支える。	・PTによる高齢者支援セミナーを7月に実施、延べ25名参加。
		地域住民や福祉関係職員・利用者等を対象に応急手当普及員有資格職員を派遣し、心肺蘇生法・AED使用方法等の講習会を実施する。	・一次救命処置講習会をグループホームや他施設に応急手当普及員を派遣：4回／34名参加。 ・普通救命講習会を厚木地区世話人研修に応急手当普及員を派遣：1回／13名参加。
2	地域防災拠点施設事業	厚木精華園近隣の災害弱者の福祉避難所として機能整備する。	・パーソナルテント、簡易トイレを購入する。 ・研修や展示会に参加し、防災備品や災害時の知識等を学ぶ。 ・荻野地区の5協定施設で災害時の協定施設機能を発揮するための連携組織「荻野地区協定施設連絡会議」の設置準備を実施。
		消防署・市危機管理室・自治体と連携し、壊滅的な災害に備えた防災訓練を実施する。	・避難所会場を担う小・中学校を含め関係機関を構成メンバーとする荻野地区みんなで安心まもり隊を組織し、平成30年3月4日に蔦尾4丁目を対象とした避難訓練を実施。参加者約300名。
3	地域交流・社会参加支援事業	地域の住民や在宅障害者を対象にコンサート、外出等を開催し、地域交流を図る。	・地域コンサート：2回開催・延べ330人参加。1回目 地域コンサート(演奏会)実施。近隣事業所、利用者等延べ130名参加。2回目 近隣小学校「上小発！明るい街荻野」施設見学実施。延べ3名参加。3回目 地域コンサート(演奏会)実施。近隣中学校、利用者等延べ200名参加。

### Ⅲ 各課事業報告

#### 1 総務課

社会福祉法人制度改革により、ガバナンスの強化として会計監査人が設けられ公認会計士による会計監査を受け、適正かつ効率的な会計実務を学びました。

経営会議を年3回開催し利用者の安心・安全で豊かな暮らしを支えるために、外出計画や備品更新並びに修繕計画を検討し計画的な予算執行に取り組みました。また、神奈川県による計画営繕としてエレベーター1基更新等の対応にも取り組みました。

GHにおいては平成25年12月に消防法施行令が改正され、スプリンクラー設備の設置や自動火災報知設備の設置が義務付けとなったため、神奈川県の補助として「障害福祉施設等施設整備補助金（国庫補助）」並びに神奈川県共同募金会による「施設整備費受配申請」を行い、自己資金としてGHの積立金を取崩し5箇所を設置しました。

備品更新並びに主な改修は以下の通りです。

#### \* 備品更新

【指定管理施設】	【自主事業】
調理課：冷蔵庫・冷凍庫・商業用レンジ	GH：エアコン・ネットワーク機器設置
ロボクープ	火災通報装置・自火報
生活課：介護ベッド・エアコン、汚物除去機	スプリンクラー（5箇所）
施設：PHSアンテナ増設	

#### \* 主な改修工事

法人施工	県施工
居住棟1階 空調機修理	冷温水発生機更新
各課自動ドア電位施錠取付工事	貯水槽修理
受水槽漏水補修	引き込みケーブル更新
1課汚物除去機更新	高圧真空遮断器更新
PHSシステムアンテナ増設	エレベーター1基更新
消防用設備修理	オイルギヤポンプ交換
1課トイレ内エアコン更新	簡易自動消火装置更新
管理棟2階正面屋外非常階段踊り場修理	
2課トイレフラッシュバルブ修理	

## 2 栄養調理課

### 『スパイス愛で調理』

厚木精華園の食事は利用者に寄り添った『安全』『安心』そして、『感動』をお届けしてまいりました。

#### (1) 29年度温冷配膳車導入

日中支援課に温冷配膳車を導入で全課に適温提供の実現に至りました。冬は温かい食事提供の実現、夏は冷たいデザート。食欲をそそる爽やかな冷やし中華等の提供で利用者へのサービス向上を図りました。



#### (2) 食事形態の改善と調理方法の工夫

高齢で嚥下機能が低下していく利用者に寄り添った食事は安全を第一に味、見た目の美しさを考慮して調理しています。

##### 食事形態の特徴

- ア 「口どけ食」喉をスルーと落ちていく嚥下困難な利用者に安心、安全な食事として当園には欠かせない嚥下食です。
- イ 「トロミ食」は口腔内でばらけないように硬すぎず柔らかすぎない調理法です。
- ウ 「カット食」は普通食の形態をさらに食べやすくカットをしました。
- エ 「普通食」でも利用者さんには合わせた調理方法です。食べやすい大きさにカットします。煮物などは舌でつぶせる硬さです。

#### (3) 医療対応食の実施

糖尿病、脂質異常症、高血圧、腎臓病、低残差、塩分制限等の医療食を医師の指示により実施しました。

#### (4) 食事形態別食数 厚木精華園の入所者のみ

普通食 1800Kcal～1600Kcal 27名・カット食 19名・トロミ食 6名・口どけ食 5名  
制限食 1400Kcal～1000Kcal 7名・カット食 20名・トロミ食 4名・口どけ食 9名

#### (5) 嗜好による個人対応の実施で食事への不満を解消しました。

嫌いな食べ物、食べづらい物は利用者ご本人からのご希望に沿った食事の提供を実施しています。

#### (6) 利用者『喫茶プティ招待』と『昼食プティ招待』

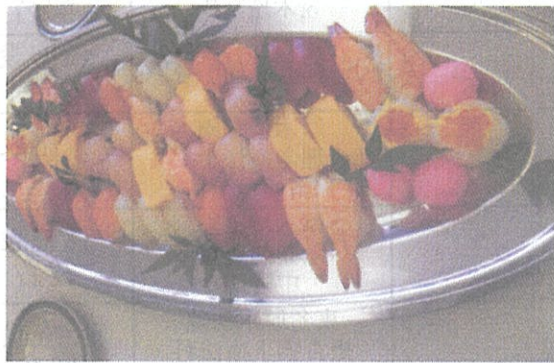
後援会からの補助金事業。『喫茶プティ招待』とは、栄養調理課職員が入所者、グループホーム、生活介護利用者の方々を6名から10名招待し、職員食堂で毎月1回午後2時から3時の一時間内で行う内容は、手作りお菓子や飲み物を囲んで談笑、風船バレー、伝言ゲーム、ギター演奏で唄い楽しい時間を過ごしました。

29年度『喫茶プティ招待』は年に10回実施しました。





『昼食プチ招待』とは利用者が大好きな「握りのお寿司」を目の前でお好みを握るサービスです。今年からは、「口どけの握り寿司」で嚥下困難な利用者も笑顔で召し上がることが出来ました。



29年度は『寿司まつり招待』2回実施しました。利用者総数20名を招待しました。

(7) 『行事食』と『季節食事』の実施

- 9月 『長寿の祝い』高齢者施設ならではの行事、皆さんが食べやすいように調理されたお弁当でお祝いをしました。
- 9月 『秋分の日』おはぎ3種を昼食で提供しました。「口どけのおはぎ」も大好評でした。
- 12月 厚木精華園クリスマスパーティー『クリスマススペシャル弁当』でクリスマスを楽しみました。  
厚木身体障害者等介護事業所『とまと』のXmasバイキングの厚木精華園にて実施しました。
- 12月31日 大晦日 天婦羅そばを提供しました。
- 30年 元旦 朝食は、雑煮、いくらのおえ物などで新年を迎えました。  
昼食はお刺身豪華盛り合わせ、お赤飯、伊達巻、数の子の紅白なます、お吸い物を提供しました。
- 1月7日 朝食 七草粥を提供しました。
- 1月 各課新年会 お刺身、天ぷらとお正月料理でお祝いをしました。
- 1月 鏡開きでお汁粉を提供し、「口どけ食のお汁粉」を提供大好評でした。
- 2月 節分 小粒の甘納豆で「鬼は外！」をしました。
- 2月 春分の日 昼食はおはぎ3種を昼食。「口どけ食のおはぎ」も提供しました。

季節ごとの日本の食文化を提供しました。

### 3 相談研修課

相談研修課は、研修に関する主な業務として「高齢者支援セミナー」を企画、運営をはじめ、園内研修の実施や職員派遣研修に関するものを行い人材育成が図れるよう取り組みました。また相談に関する業務として、多様なニーズを抱えた利用者の相談業務、短期利用相談等、施設利用に関する相談をはじめ、移行支援の調整など様々な業務を行っています。他、外部講師派遣や施設見学対応、各種実習生等の受入を行いました。あわせて利用者さんの余暇の充実の一環として「喫茶おはなし」を開催しました。

#### (1) 高齢者支援セミナー

高齢者の支援に関するセミナーとして厚木精華園が主催し、年12回開催しました。平成29年度は「高齢者を知る」をテーマに実施し、40団体の登録があります。

	日程	テーマ	講師	参加人数
1	4月19日	利用者の摂食嚥下機能低下への取り組み ～いつまでも口から食べたい！を支援するためには～	厚木精華園 生活1課 辻好子	12施設 21名
2	5月17日	オムツのあて方	リフト・コーポレーション 笠木玲奈氏	16施設 24名
3	6月28日	高齢研合同セミナー 知的障害者支援施設の看護師業務について	パ°ネテ°イスクッション	18施設 36名
4	7月19日	高齢化による身体機能の変化	厚木精華園 理学療法士 猪熊 愛	17施設 25名
5	8月16日	スパイス愛で調理 ～優しく寄り添った食事支援について～	厚木精華園 栄養調理課 中野博	18施設 32名
6	9月20日	摂食嚥下 ～根拠を理解し支援にあたるために～	東名厚木病院 摂食嚥下療法科 芳村直美氏	15施設 23名
7	10月18日	成年後見制度 ～私たちができること、支援に活かすためには～	桜行政書士事務所 山田沙耶氏	17施設 29名
8	11月15日	高齢研合同セミナー ～穏やかに最期を迎えるには～	世田谷区立特別養護 老人ホーム芦花ホーム 石飛幸三氏	15施設 23名
9	12月20日	高齢者特有の疾患について	厚木市立病院 山田順子氏	18施設 26名
10	1月17日	高齢者の日中活動及び利用者への レクリエーションについて	厚木精華園 日中支援課 下道昌弘・切通いづみ	18施設 29名
11	2月21日	介護技術向上のための取り組み	厚木精華園 研修委員会	13施設 23名
12	3月14日	終末期支援プロジェクトの取り組み ～2年間のまとめ～	厚木精華園 終末期支援プロジェクト	15施設 30名

#### (2) 外部発表

高齢者の支援に関する外部発表を行いました。

	日程	テーマ	講師	研修開催主体
1	6月20日	高齢知的障害者支援の実践報告	地域支援部 今井幸世	神奈川県総合リハビリテーション事業団
2	1月27日	終末期ケアを考えてみよう ～高齢化等が顕著になっている今、私たちは何をすべきか～	園長 平嶺一昭	東京都社会福祉協議会 知的発達障害者部会 利用者支援研究会 保健医療スタッフ会



(3) 園内研修・派遣研修実績

	研修テーマ	回数	人数
園内研修	新採・異動職員対象研修	2	25
	上記フォロー研修	2	20
	人権擁護研修	1	25
	腰痛予防講習会	1	42
	おむつのあて方研修	2	10
	非常勤研修	3	40
	普通救命講習	3	32
	メンタルヘルス	1	32
	感染予防	1	38
	交通安全研修	1	30
	成年後見制度	1	39
	基礎研修 日中活動支援の取り組み	1	29
	個人記録記載の書き方	1	33
	意思決定支援	1	15
	スパイス愛で調理	1	42
	合計	22	452

①

園主催研修 (外部向け)	高齢者支援セミナー	12	321
	オープンセミナー	1	12
	合計	13	333

②

	研修テーマ	回数	人数
派遣研修	応急手当普及員関係	3	6
	スーパーバイザー研修	2	1
	相談支援従事者初任研修	7	1
	相談支援従事者現任研修	0	0
	外部新人職員研修	2	1
	強度行動障害支援者養成	12	6
	支援区分認定調査員研修	1	1
	サービス管理責任者関係	5	2
	障害者支援施設部会 全国大会高知大会	1	1
	知的障害福祉関係 職員研究大会(関プロ)	6	3
	矯正施設退所者受け入れ 関連研修	1	1
	人権関連 権利擁護・意思決定支援	1	5
	強度行動障害支援者実践	2	1
	実践報告会	1	1
	福祉職専門研修	5	5
	法の基礎のキソ	1	2
	新任研修	2	1
	喀痰吸引	4	4
	安全運転管理者	1	1
	合計	57	43

③

(回数) (人数)

② 42 合計	①+②+③	92	828
---------------	-------	----	-----

#### (4) 短期入所事業 日中一時支援事業

29年度の短期入所事業の利用者の特色として中高齢期の在宅の方でご家族の高齢化により家庭で継続して過ごすことが難しくなった方の緊急的に受け止めやご家族のご病気による受入、重複障害のためハード面で術後安定するまでの間の受入や被虐待者の受入、身体状況の変化から在宅生活が難しくなってきた方の利用が目立ちました。平成18年10月より行っている日中一時支援事業は、厚木市、愛川町とそれぞれ委託契約を結んでいます。

##### ア 月別短期入所状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	人	4	5	4	3	6	7	5	4	6	4	5	5	58
	日	39	55	14	12	40	37	33	14	39	35	26	25	369
女	人	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4	2	2	12
	日	0	0	14	0	0	0	0	21	62	67	56	62	282
計	人	4	5	5	3	6	7	5	5	8	8	7	4	70
	日	39	55	28	12	40	37	33	35	101	102	82	87	651

##### イ 市町村別短期利用者状況

(延べ人数)

区分	厚木市	伊勢原市	相模原市	秦野市	海老名市	小田原市	平塚市	愛川町	座間市	大和市	綾瀬市	葉山町	川崎市	横須賀市	計
男	223	60	44	0	0	11	0	21	2	0	0	0	0	8	369
女	14	0	0	0	0	0	0	121	0	0	0	5	142	0	282
計	237	60	44	0	0	11	0	142	2	0	0	5	142	8	651

##### ウ 月別日中一時状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	男	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	人	0	4	4	3	5	3	4	4	1	0	0	5
	計	人	0	4	4	3	5	3	4	4	1	0	0	5

#### (5) 相談支援

相談研修課のケースワーカーを中心に、相談の受け付けを行いました。入所相談が中心で、短期入所へのほか、平日、日中活動の場として生活介護や日中一時支援を希望する方の相談がありました。市町村や指定相談支援事業所の窓口との連携、他施設との情報交換を十分に行っていくことが不可欠となっています。相談件数は以下に示す表の通りでした。他、移行支援にかかる調整も行いました。

##### 相談支援の状況

(単位：件)

区分		厚木市	相模原市	秦野市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	湯河原町	横浜市	座間市	海老名市	愛川町	清川村	川崎市	
相談・見学	男	85	31	1	0	14	0	0	6	20	2	15	0	3	
	女	19	0	3	0	7	0	2	21	1	0	22	0	7	
	計	104	31	4	0	21	0	2	27	21	2	37	0	10	
区分		綾瀬市	伊勢原市	藤沢市	葉山町	大磯町	松田町	横須賀市	三浦	逗子	山北	大和	県外	不明	計
相談・見学	男	2	9	2	1	0	4	7	0	0	0	11	6	0	219
	女	0	3	2	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	93
	計	2	12	3	4	0	4	8	0	0	0	11	8	0	312

(6) 施設見学

	日程	施設名	人数	備考
1	6月1日	仙台市議員	2	口どけ食
2	8月23日	柿生学園	6	
3	9月7日	NPO法人 こんちえると	5	
4	10月3日	愛名やまゆり園非常勤研修	20	
5	11月6日	三浦しらとり園	3	
6	11月22日	澄水園	6	
7	11月30日	世田谷区立障害者就労支援センターすきっぷ	8	
8	1月31日	とちぎ健康福祉協会 桜ふれあいの郷	4	
9	3月13日	田園調布学園大学	2	
10	月 日			
合計		9団体	56	

その他見学 (相談者・実習生等) (件数) (人数)

合計	36件	71	
全体合計	45件	127	

(7) 実習生・研修生

	受入人数	受入述べ日数
保育実習	13名	143日
社会福祉士	1名	15日
社会福祉主事	1名	12日
その他	5名	6日

(8) 喫茶おはなし

利用者さんの楽しみ、やすらぎの提供、ボランティア等インフォーマル資源の導入の一助として毎月開催しました。H29年度は雪等により2回開催ができませんでしたが、年間557名の利用者さんが参加し、交流しながら44とときを過ごすことができました。

## 4 生活課

### (1) 生活課の状況

#### 1 課利用者状況

(単位：人) 平成30年3月31日現在

性別		女性38名 (短期利用者および日中一時利用者は除く)						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	8	3	10	6	6	4	1	38
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	0		2		7		29	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	外出車椅子	歩行器
	5	12	2	3		22	6	2

#### 2 課利用者状況

(単位：人) 平成30年3月31日現在

性別		男性35名 (短期利用者および日中一時利用者は除く)						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	10	3	7	4	9	1	1	35
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	1		2		10		22	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	保護帽	歩行器
	4	11	3	3		21	6	3

#### 3 課利用者状況

(単位：人) 平成30年3月31日現在

性別		男性33名 (短期利用者および日中一時利用者は除く)						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	10	4	6	7	4	1	1	33
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	5		8		13		7	
身体状況	肢体等	その他	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	保護帽	歩行器
	3	2	0	0		3	6	1

生活課は3課体制で支援しています。1課が女性、2課・3課が男性で構成されています。利用者数は3月末現在、女性38名、男性68名となっています。

平成29年度は、入退院を繰り返す方や身体機能の低下（特に拘縮や褥瘡等）が多くみられました。また、知的障害に加え認知症的症状が進行する方も増えました。平成29年度は男性3名、女性1名がご逝去されました。また、常時医療が必要となり、男性1名、女性1名療養型病院へ移行されました。

利用者全体の介護内容が多様化・増加している中で、人生のラストステージを迎えようとしている利用者への個別支援をどう実施していくかが引き続き大きな課題になっています。

医療的ケアについては、法制度上、施設支援の限界があり、療養型病床群等への移行支援ニーズも高まっています。

### (2) 食事

毎日の食事では栄養ケアマネジメントに取組み、利用者の嗜好を尊重した「個別対応食」や、嚥下困難な方への配慮（普通食、カット食、とろみ食、口どけ食等）を生活課、看護課、調理課との連携で進めてきました。また、食事支援を必要とされる方が年々増加しているため、より安全な環境で食事提供できるよう、定期的に食事席の見直しや介助方法の見直し等を行いました。



### (3) 入浴

高齢化による急激な体調の変化、介護度、障害特性、交友関係などを考慮した上でグループ分けを行い、個々に最適と考えられる浴室（一般浴室、リフター付浴室、機械浴室）での入浴を実施しました。生活1課では午前と午後の2回実施とシャワーストレッチャーを週1回、生活2課では午後2箇所での2回の実施、生活3課では午後1回、夕食後1回の2回実施しています。利用者の重度化、高齢化に伴い機械浴での入浴者が増加傾向にあり、生活介護サービスの枠内で入浴が実施できる体制づくりを図ってきました。より「安全」で「快適」な入浴時間を提供できるよう、利用者数、職員数、回数等が適正かどうかを常に検討しました。

### (4) 余暇・外出

個別のニーズに沿って支援を進めました。美容サービス（ネイル）、介護マッサージ等の定期利用の他、喫茶プティ・デザートテラス・ファミリーマート販売会・出張販売会・映画会・音楽会・カラオケ・レクリエーション等も余暇支援として取り組みました。

介護度の上昇、通院回数の増加等により外出の機会は減少しましたが、可能な限り個別での外部事業所の利用、職員等によるガイドヘルパー制度の活用により、その機会を最大限確保するよう努めました。また職員同行の外出は、昼食外出・買い物外出が大部分を占めましたが、本人の気持ちを汲み家族と調整を語り家庭訪問等も実施しました。好天の日には短時間でもドライブや園近辺の散歩等ができるよう日課を工夫しました。さらに外出できない方には、外食気分を感じていただけるよう出前をとり、ゲストハウス等を利用して日常と雰囲気を変えての食事場面も提供しました。利用者が楽しんで頂ける機会を少しでも多く確保できるよう努めました。

### (5) 支援スキル向上への取り組み

理学療法士の指導の下、利用者の身体機能維持に必要な運動プログラムを学び、拘縮予防や介護予防に繋げています。また支援方法や介助方法が適切に行えているかを確認し、より安全で安心感を感じていただけるよう努めました。また、安定したサービスの提供ができるように支援方法や介助方法のマニュアルを作成し、情報共有と統一した支援を行いました。

### (6) 福祉機器の活用

介護度の上昇に伴い、「利用者にとっての安心安全」「職員にとっての衛生管理」を両立させるべく、平成26年度に女性課へ2台リフターを導入しました。利用者も職員も日々、当たり前のように利用しており安全な使用を続けるためリフターのインストラクターの資格を取得した職員による講習を行っています。また、車いすに座っていることが多い利用者の為、イージーウォークを導入し浮腫み解消に役立てています。



移乗用リフター 課内講習



イージーウォーク

## 5 日中支援課

平成 29 年度の日中支援課は定員 140 名で生活介護事業を行いました。利用者の契約状況として一般入所 106 名、共同生活援助利用者 20 名、在宅利用者 9 名となっています。(平成 30 年 3 月 31 日現在)

### (1) サービス概要

サービス内容としては、生活介護を 3 つの空間『寮』『作業活動室』『デイルーム』に分け支援を行なってきました。

『寮』では、日中、寮で過ごしている利用者に対して機能維持活動や入浴等を中心とした介護・支援を行ないました。

『作業活動室』では、一般入所(寮)・共同生活援助・在宅利用者に対して生産・創作活動や余暇等を中心とした介護・支援を行ないました。

『デイルーム』では、一般入所(寮)・在宅利用者等に対して個別活動や入浴を中心とした介護・支援を行ないました。

また、食事についても利用者のニーズ・摂食状況に応じた食事内容、介助をと、利用者介護・支援についての『安心・安全』を最優先にしながら、より良い「日中の過ごし」が提供できるように取り組みました。

#### \*平成 29 年度月別利用者状況\*

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
営業日数	21	21	22	21	23	21	22	21	21	20	20	22	
利用者数 (延べ)	2820	2838	2977	2797	3045	2765	2922	2660	2669	2511	2561	2791	2779.7

### (2) 年間目標

#### ア 「日中の過ごし」の利用者満足度を上げる取り組みについて

介護・支援等の取り組み内容の見直しを適宜実施し、利用者のニーズに応じた介護・支援を目指しました。

理学療法士のアドバイスの基、機能維持に向けた活動を実施しました。

#### イ 地域住民・事業所等の交流・貢献について

ボランティアのコーディネート業務を円滑に行ない、ボランティアの継続参加に努め、施設連絡会行事への参画、地域コンサートの開催等にて地域住民・他事業所との交流を図りました。

#### ウ 課体制の改善及び職員のスキルアップについて

会議等にて業務内容の見直しや効率化を図り、専門技術・知識、人権・権利擁護の意識向上に努めました。

### (3) 週間プログラム

#### ◆ 寮

機能維持活動や入浴を中心に介護・支援を行なってきました。

- ・機能維持活動については、福祉機器を使用したり、理学療法士からのアドバイスの基、日々取り組める活動を行なってきました。
- ・入浴については、一般浴、マルチリフター浴及び機械浴を実施しました。特に機械浴については、利用者の身体的負担が軽減され、利用ニーズが高くなっています。
- ・理美容については、理容・美容合わせて月4回実施しました。園内理美容室までの移動が困難な利用者に対しては、理美容師が寮まで出向いて行ないました。

#### ◆ 作業活動室

午前中は生産活動を中心に、午後は曜日毎のプログラムに合わせて介護・支援を行なってきました。

- ・生産活動については、「働きたい」という気持ちを大切に、利用者一人一人の希望、作業能力に合わせて作業の提供をしました。内容としては、「アルミリサイクル」「DVD・CD解体」を中心に行いました。
- ・曜日毎のプログラムについては、機能維持活動として高齢化に伴う身体機能低下及び廃用症候群の予防を目的とし、理学療法士の指導に基づいた職員による機能維持運動などを実施しました。  
また、余暇的な活動として、カラオケ・映画会とそれぞれ週1回、作業活動室で定期プログラムとして取り入れ、実施しました。
- ・創作活動においても、それぞれそれぞれ月1～2回、外部より講師・ボランティアを招いて作業活動室で実施しました。絵手紙については、参加者の作品を園内外等に展示しました。

#### ◆ デイルーム

機械浴や個別での活動を中心に介護・支援を行ないました。

- ・理学療法士のアドバイスの基、機能維持やリラクゼーションを中心とした支援を実施しました。また、個別に関わりながら、作業活動室にてコミュニケーションを含め、余暇・創作活動等集団活動にも参加しました。

\* 他、売店（ファミリーマート）、音楽レク、喫茶おはなし等の余暇的な活動も実施しました。

#### ◇ 地域交流関連事業

コンサートや施設連絡会行事に参画し、地域交流等にも努めました。

#### ◎送迎

厚木市・清川村在住の共同生活援助利用者、在宅利用者に対して実施しました。安全・安心できる運転を心掛けました。



## 6 看護課

### (1) 診療業務及び受診状況

厚木精華園診療所の役割は、利用者の健康管理と診療業務です。診療業務は継続して神奈川県リハビリテーション病院の協力を得て行いました。

### (2) 年間業務

年度の計画に基づき健康診断及び諸検査などを以下の内容で行いました。前年度と変わりなく実施できました。異常時には外部医療機関を受診して検査や治療、医療的フォローを実施しました。

ア 健診業務 内科（一般聴打診・血圧測定・心電図・身長・体重）  
胸部レントゲン撮影（1回/年）  
内科健診は誕生日健診と6ヶ月後に実施  
耳鼻科、眼科、乳癌検診

イ 検査業務 血液検査（血清、生化学、薬物血中濃度）  
腫瘍マーカー検査 便潜血  
尿検査（尿一般、）  
脳波検査（医師から指示ある人のみ）

### (3) 日常業務

#### ア 観察

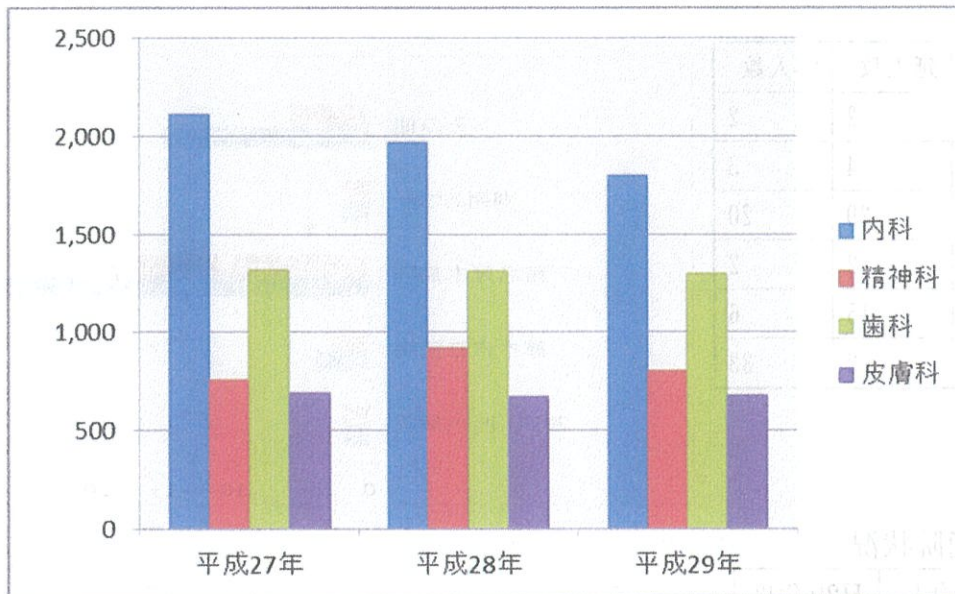
体調を十分に訴えることが難しい高齢知的障害者の健康把握のため、支援員から利用者の健康状態についての情報提供を受けながら、観察を行いました。また医療職員と支援員が同じ視点で利用者の健康状態について、共通認識をもちながら密接な連携が保てるように心がけました。

#### イ 園内診療状況

各科の診療は月間予定表を作成して計画的に行うことができました今年度の総診療件数 4573 件であり、前年度より 290 件の減少結果となっています。統計資料による各科の前年度比は次のとおりでした。

診療件数

診療科	内科	精神科	歯科	皮膚科	総診療件数
年度					
平成 27 年	2,108	754	1,314	688	4,864
平成 28 年	1,964	920	1,307	672	4,863
平成 29 年	1,800	801	1,295	677	4,573



#### (ア) 内科

診療件数は1,800件、入院や他界・移行支援等で164件の減少となりました。1月から3月にかけて、インフルエンザ等の感染症の発生もありましたが蔓延することはありませんでした。

#### (イ) 精神科

診療は週2日と前年度と変わりありませんでした。利用者の移行・他界に伴い、件数も119件の減となりました。

#### (ウ) 歯科

前年度1,307件 今年度は感染症による課閉鎖等もありましたが1295件で大きく変わりなく診療ができました

#### (エ) 皮膚科

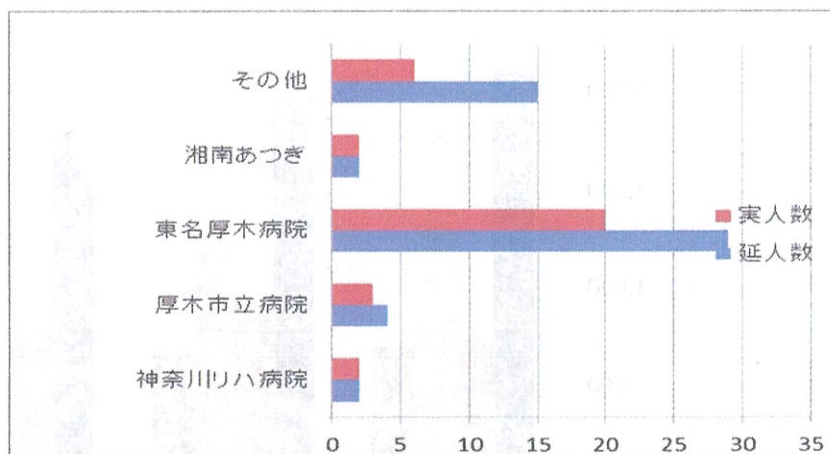
今年度は月2回の診療となり677件で昨年とほぼ同様の診療件数となりました。水虫、老人特有の皮膚疾患や初期の褥瘡などが目立ちました。園内での診療・処置にも限界あり並行して外部通院も行いました。

#### ウ 他医療機関の受診状況

園内治療には限界があり専門医による診療が必要な疾患や、より精密検査を必要とする疾患については神奈川リハビリテーション病院や東名厚木病院等を利用しました。発熱や外傷については近隣の病院を利用し、東名厚木病院等への通入院は緊急での利用がほとんどでした。高齢に伴う身体機能の低下や施設内での医療的ケアの限界などもあり延べ入院数は52件で昨年より2件の増でした。

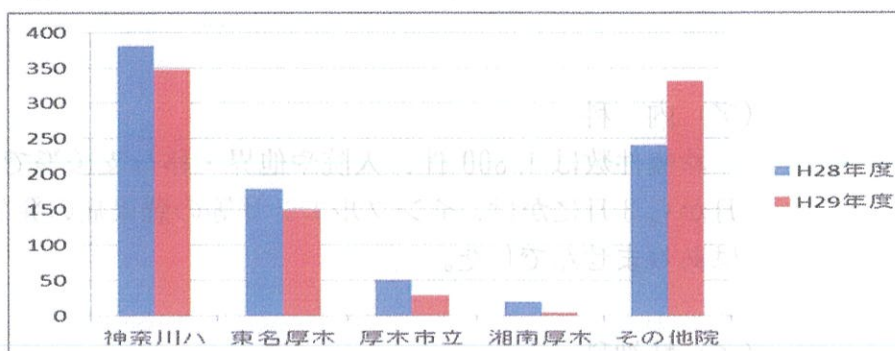
## 入院状況

入院先	延人数	実人数
神奈川リハ病院	2	2
厚木市立病院	4	3
東名厚木病院	29	20
湘南厚木病院	2	2
その他	15	6
計	52	33



## 厚木精華園通院状況

通院先	H28年度	H29年度
神奈川リハ	379	347
東名厚木	180	149
厚木市立	49	33
湘南厚木	19	4
その他院	243	330
計	870	863



## 平成 29 年度通院状況

### 1. 神奈川リハ病院

内科	52
外科	78
泌尿器科	78
眼科	10
リハ科	8
脳神経科	0
神経内科	0
整形外科	40
皮膚科	81
耳鼻科	0
歯科	6
延人数計	347

### 2. 東名厚木クリニック病院

内科	68
外科	5
脳外科	5
整形外科	11
形成外科	18
泌尿器	3
耳鼻科	0
救急外来	28
延人数計	149

### 3. 厚木市立病院

外科	1
脳外科	3
眼科	8
泌尿器科	1
整形外科	11
内科	3
精神科	0
婦人科	0
肛門外来	2
救急外来	0
延人数計	28

4. 湘南厚木病院

外科	0
内科	0
救急外来	4
延べ人数	4

5. その他医療機関

峯崎整形外科	64
米澤外科内科	56
戸室耳鼻科	0
東海大	39
とびお診療所	16
近藤病院	0
あらかわクリニック	16
相州病院	27
森の里	7
厚木佐藤病院	55
仁厚会	15
その他医院等	29
延べ人数	324

エ 入院状況

平成29年度は延べ52件、入院日数は1,153日、実人数33名で昨年と同じになっています。また平均すると1回の入院日数は、約22日と昨年より3日ほど短くなりました。高齢に伴う身体の変化は顕著であり入院の半数は肺炎が原因でした。入院した利用者の中には入退院を繰り返す人もあり園内での看護・支援継続の困難さに療養型の病院等に移行された方もいました。

入院状況

平成29年4月～平成30年3月31日

NO	性別	年齢	疾患名	入院機関	入院期間	入院日数
1	男	78	食思不振	仁厚会	4/1-4/17	H28・12・26～入院 21
2	女	74	腎盂腎炎 腎瘻	東名厚木	4/1-4/12	84
3	女	74	腎盂腎炎 腎瘻 (環境性のため)	厚木佐藤	4/12-5/29	H29・2・24～入院 28
4	女	75	統合失調による医療保護入院	愛光病院	4/1-6/15	H29・3・16～入院 9
5	男	69	肺炎	東名厚木	4/1-4/10	H29・3・30～入院 42
6	女	53	てんかん重積発作	東名厚木	4/5-4/13	救急車 13
7	男	68	肺炎	東名厚木	4/6-4/25	21
8	男	68	膀胱結石の手術目的で入院	神奈川リハ	4/14-4/26	13
9	男	67	肺炎	厚木佐藤	5/17-7/5	18
10	男	70	窒息 心肺停止	東名厚木	5/20-5/22	救急車 7



11	男	72	下血様の排便あり腸炎	東名厚木	5/22-5/31		95
12	女	84	喀痰吸引回数増加	オアシス湘南	5/24-7/26		13
13	男	77	定期受診時に腸内ガス多量のため入院となる	東名厚木	5/24-5/31		34
14	男	58	40℃の発熱、気管支炎の診断	東名厚木	6/9-6/15		59
15	男	85	ソケイヘルニア手術	東名厚木	6/29-7/3		25
16	男	59	7/10から発熱でクラビット内服中であつたが園内受診後通院。肺炎にて入院	東名厚木	7/13-7/31		15
17	男	69	転倒による歩行不可右大腿骨骨折	森の里	7/15-8/7		58
18	女	84	朝食を詰まらせる。園内受診後通院。誤嚥	オアシス湘南	7/27-10/31		7
19	男	69	発熱38℃、肺炎のため入院	東名厚木	7/28-8/8		33
20	男	58	発熱(39℃)尿路感染	東名厚木	8/2-8/14		6
21	男	70	20:13、反応薄くあくびと冷や汗、意識朦朧。救急車要請し緊急搬送。検査結果は異常なくてんかん発作の見解。	湘南厚木病院	8/23-8/24	救急車	25
22	男	69	夜間嘔吐・嘔気あり。通院しサブレウスのため入院	東名厚木	8/27-9/4		25
23	女	88	食欲不振 発熱、電解質低下 k2.7 心電図ST低下	東名厚木	8/29-9/4		12
24	男	76	黒色の嘔吐物 食道ヘルニアと胃体上部小彎に線状の潰瘍あり。	東名厚木	9/2-9/5		14
25	男	59	発熱・採血結果:CRP 5.4 WBC4520 X-P、CT上右胸水の悪化ない	東名厚木	9/9-9/19		15
26	男	69	退院後も吐き気持続しているため通院しガス貯留で入院	東名厚木	9/13-9/22		41
27	女	76	転倒し左上腕頸部骨折のため入院。12日プレート固定術施行	森の里 整形	9/11-9/29	救急車	74
28	女	80	38.0℃台の発熱、喘鳴。CRP7.5	東名厚木	9/14-9/28		17
29	女	67	SP02の低下 呼吸不全死亡	厚木佐藤	9/20-12/22		13
30	男	69	発熱38℃近医紹介、救急受診し肺炎	東名厚木	9/26-10/2		10
31	男	69	退院後に発熱、SP02低下	東名厚木	10/2-10/4		10

32	男	86	発熱40℃ 尿路感染	東名厚木	10/24-11/2		2
33	男	69	嘔気持続、腸管ガス多量にあり	東名厚木	10/26-11/6		62
34	男	58	発熱40℃ 尿路感染	東名厚木	11/1-11/10		96
35	男	63	発熱 右急性腎盂腎炎	東名厚木	11/2-11/7		4
36	女	77	気管支炎	仁厚会	11/2-12/7		0
37	男	42	転倒による歩行不可右大腿骨顆部骨折	厚木市立 整形 → 茅ヶ崎北陵	10/27-2/19		41
38	男	76	39℃発熱 軽度肺炎 吸引必要のため入院	東名厚木	11/12-11/21		8
39	女	81	左大腿骨顆上骨折	神奈川リハ整形	11/13-12/26		12
40	男	72	肺炎	東名厚木	11/15-12/6		19
41	男	56	発熱、CRP26.7 入院	厚木佐藤	11/21-12/5		12
42	女	70	白内障手術(右眼)	厚木市立 眼科	12/4-12/6		11
43	女	76	右足(腓骨・脛骨)骨折	森の里 整形	12/7-1/30		18
44	女	77	リハビリ目的	厚木佐藤	12/19-2/23		11
45	男	72	肺炎・食不振	厚木佐藤	12/28-1/18		4
46	女	82	発熱・SP02の低下 レジオネラ菌肺炎	東名厚木	1/12-1/22		35
47	女	70	白内障手術(左眼)	厚木市立 眼科	1/29-1/31		5
48	男	70	肺膿瘍	東名厚木	1/19-2/9		12
49	男	72	肺炎・食不振	厚木佐藤	2/15-		16
50	男	61	誤嚥性肺炎	東名厚木病院	3/19-3/29	救急車	2
51	男	65	敗血症(食道破裂)	湘南厚木病院	3/27-3/28	救急車	2
52	女	65	左目角膜潰瘍	厚木市立 眼科	3/29-		3

\*救急車の要請は入院状況も含め6件でした。

オ 死亡者

入所利用者の死亡状況は次のとおりです。

	性別	年齢	疾患	医療機関	日時
1	男	70	誤嚥、窒息	東名厚木	H29年5月22日 09:03分
2	男	67	肺炎 多発性脳こうそく	厚木佐藤	H29年7月5日 05:22分
3	男	69	肺炎	東名厚木	H29年10月4日
4	女	67	呼吸不全	厚木佐藤	H29年12月22日 22時16分
5	男	65	敗血症（食道破裂）	湘南厚木	H30年3月28日 17:01分

カ その他

(ア) 感染症対策

インフルエンザワクチン予防接種の実施、インフルエンザウィルスキット、ノロウィルス抗体キット、マスクなどを購入し感染症予防の対策を取りました。また、支援員への感染症予防の啓発として専門医による研修会を開催とノロ対応訓練を行い標準化を図るよう努めました。今年度は感染性胃腸炎の感染はありませんでした。インフルエンザについては2月より発症罹患した人数は利用者10名と職員2名の計12名でした。インフルエンザの流行時期が変化しているため通院時にはマスク着用等を促しました。また、通院した利用者の尿よりレジオネラ菌が検出され医療機関より保健所へ届け出があり、後日保健所指示のもと環境整備に努めました。

(イ) 医療的ケア

高齢化に伴い入退院を繰り返す中で医療的ケアが求められる機会が多くなっています。今年度も医療的ケアが必要となった方の受け入れや医療行為の変更等で延べ42名の職員が研修を終了しました。

医療的ケアの対象人数は経鼻栄養：3名、胃ろう：5名、吸引：8名。



## 7 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』

厚木市より事業を引き継ぎ、厚木精華園による運営が7年目となりました。平成29年度は、利用者総計が長期の入院者等が出た関係で前年度より減少しましたが、安定した経営を保つことが出来ました。サービスの質を落とすことなく自立支援プログラム、入浴、行事等利用者の要望に応え、安心して寛げる場所の提供に取り組みました。またボランティアの積極的活用により、利用者の個別支援の充実を図り、家族も含め好評を得ています。8年目も、「とまとがオアシス」という声が多く聞かれるようにしたいと思います。

### (1) 年間事業実績

	区分6	区分5	区分4	区分3	総計
男性	366	390	292	521	1,569
女性	653	729	212	0	1,594
計	1,019	1,119	504	521	3,163

週末イベントなど、必要性に応じて土曜日・日曜日に事業実施を行ってきました。このことにより、「とまと」利用者が一同に集まる場を提供することができました。

項目	事業実施日	延利用者数	1日平均利用者数
実績	247日	3,163人	12.8人

### (2) 曜日別利用予定者数

曜日	月	火	水	木	金
利用人数	16人 (男8・女8)	16人 (男7・女9)	15人 (男7・女6)	14人 (男8・女6)	16人 (男7・女9)

### (3) 利用者概要

利用契約者数…38人(男性19人・女性16人) ※年間ボランティア数…30名(延人員)  
 年齢分布…10代(3人) 20代(1人) 30代(9人) 40代(8人) 50代(8人) 60代(6人)  
 障害支援区分…区分2(なし)・区分3(7人)・区分4(7人)・区分5(14人)・区分6(10人)  
 障害原因…頸椎損傷(0人)・脳外傷(5人)・脳内出血、脳梗塞(6人)  
 脳性マヒ(13人)・脳炎(1人)・糖尿病(8人)・その他(2人)  
 車椅子使用者…30人 白杖使用者…2人

### (4) 活動実績





ア 防災訓練…月1回、年間12回実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月
緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者	緊急時訓練 水曜利用者	緊急時訓練 木曜利用者	緊急時訓練 金曜利用者	避難場所への 移動訓練
10月	11月	12月	1月	2月	3月
緊急時訓練 月曜利用者DVD使用	緊急時訓練 火曜利用者DVD使用	緊急時訓練 水曜利用者DVD使用	緊急時訓練 木曜利用者DVD使用	緊急時訓練 金曜利用者DVD使用	避難場所への 移動訓練

イ 自立支援プログラム「この指とまれ!!」実績





4月	5月	6月	7月	8月	9月
0回/0名	1回/9名	2回/20名	1回/10名	1回/8名	1回/11名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0回/0名	3回/20名	0回/0名	1回/5名	1回/8名	0回/0名

## 8 地域生活支援課（グループホーム）

	①	②	③	④
写真				
ホーム名	グループホーム ゆめホーム	グループホーム はなホーム	グループホーム そらホーム	グループホーム メゾンあやめ
タイプ	2階一戸建	2階一戸建	2階一戸建	平屋一戸建
開設年月	平成9年4月 平成17年3月 に移転	平成14年4月	平成15年10月	平成19年7月
所在地	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目
定員	4名+体験1名	5名	5名	3名
入居者数	男性：4名	男性：5名	男性：4名 女性：1名	
体験部屋	1			
家賃	35,000円	33,000円	33,000円	26,000円
食費	12,480円	16,730円	14,210円	16,510円
光熱水費	14,230円	11,310円	13,100円	9,280円
日常生活費	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
援護地	厚木市 3名 小田原市 1名	厚木市 2名 川崎市 1名 愛川町 1名 藤沢市 1名	横浜市 1名 小田原市 1名 藤沢市 1名 厚木市 1名 座間市 1名	
日中活動	福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス5名	福祉サービス 名
療育手帳	A 2-3名 B 1-1名	A 1-2名 A 2-2名 B 1-1名	A 2-5名	
障害支援 区分	区分2-1名 区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名	区分3-3名 区分4-1名 区分5-1名	区分3-1名 区分4-3名 区分5-1名	
介護保険利用	介護保険併用0名	介護保険併用2名	介護保険併用1名	介護保険併用 名
支援体制 (時間)	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	
夜間支援	夜勤	巡回	巡回	巡回
防災防犯設備	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 まもるっく

- \* 利用者の高齢化および支援度の重度化、そして、建物の老朽化などに伴い、ハード面の整備を含め「ゆめホーム事業」の今後の展開を検討し再編成作業に着手しました。
- \* 29年度末の利用者の状況は、平均年齢67才（男性61才・女性73才）、平均支援区分4です。
- \* 「めい」「すみれ」はバリアフリー設計であり、3名の方が車いす（うち1名は歩行器）を利用しています。

平成30年3月31日現在

⑤	⑥	⑦	⑧
			
グループホーム めいホーム 平屋一戸建	グループホーム ハイツすみれ 平屋一戸建	グループホーム いずみホーム 平屋一戸建	グループホーム ひのきホーム 平屋一戸建
平成20年10月	平成21年5月	平成22年5月	平成24年5月
厚木市 鷹尾地区2丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区1丁目	厚木市 上荻野地区
5名	5名	5名	5名
女性：4名	女性：5名	女性：5名	男性：4名
36,000円	37,000円	38,000円	32,000円
12,430円	12,580円	11,060円	15,250円
8,700円	10,100円	9,560円	10,740円
1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
秦野市 1名 茅ヶ崎市 1名 川崎市 2名	大和市 1名 座間市 1名 厚木市 1名 秦野市 1名 寒川町 1名	座間市 1名 相模原市 1名 小田原市 1名 横浜市 1名 秦野市 1名	厚木市 2名 海老名市 1名 湯河原町 1名
福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス5名	福祉サービス4名
A1-2名 A2-2名	A1-1名 A2-2名 B1-1名	A2-3名 B1-2名	A2-3名 B1-1名
区分4-1名 区分5-3名	区分3-1名 区分4-2名 区分5-1名 区分6-1名	区分3-4名 区分4-1名	区分4-3名 区分5-1名
介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用2名	介護保険併用1名
(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15
夜勤	夜勤	夜勤	夜勤
自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく

\*利用者の日中活動の場としてはも厚木精華園の生活介護事業(32名)、厚木精華園身体障害者等生活介護事業所(2名)、法人外の就労系サービス(12名)、また、2名の方が介護保険のディサービスを利用しています。  
\*介護保険のサービスを併用している方は、12名であり、入浴支援、特養ショートステイ、介護用品貸与、ディサービス等を利用しています。  
\*成年後見制度の利用も推進しており、11名に成年後見人が選任されています。



## 9 厚木精華園相談支援事業所『ここから』

### (1) 概要

本事業所は指定特定相談支援事業所として指定を受け、これまで地域での高齢知的障害者支援を積み上げてきた厚木精華園の強みを活かし、他職種、とりわけ介護保険事業者（居宅事業所のケアマネージャー、地域包括支援センター等）との連携を強化し、地域包括ケア社会実現に向けた一翼を担いました。

相談の内容に関しては、よりきめ細かい対応と他支援機関との連携を心掛けながら進めており、基幹相談支援センター、荻野地区包括支援センター、市社協、市障がい福祉課、生活福祉課、サービス提供事業所、医療機関の相談室などとの連携はより一層深まっており、特に、荻野地域包括支援センターとの連携では、高齢相談者と障がいが疑われるご家族へのアプローチをワンストップでおこなえるようになったのは大きな成果であり、「地域包括ケア社会の実現」に向けた取り組みとして、一定の実績をあげることができたと言えます。

また、家庭内暴力、自傷他害、経済的問題、医療的ケア、家族間関係性調整など、複雑な課題解決を求められるケースも多く、対応には、かなりのエネルギーを必要としました。

### (2) 具体的な内容

①相談件数 3,860件

\*相談方法

訪問310件 来所130件 電話等2,014件 同行他315件

\*障がい別

知的1,269件 精神787件 身体1,255件 高次脳432件  
その他422件 計4,165件（※重複あり）

②計画相談 契約数101名 計画作成53件 モニタリング135件

③障害支援区分認定調査 57件実施

#### IV 家族会活動報告

月に1回、定期的に開催されました。午前中に四役会議（家族会から会長、副会長、会計、書記、園より、園長、支援部長参加）、役員会（四役会議参加者及び各課家族会幹事参加）が開催され、午後には、全体会と課別懇談会が開催されました。

また6月は昼食懇親会、8月はお墓参りと盂蘭盆会法要、10月はラ・フェスタに参加しました。3月は体育館で春の宴を開催しました。

#### 家族会実施状況

日程		内容	その他
29年4月9日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
5月14日(日)	PM	総会	役員会あり
6月11日(日)	AM~	昼食懇親会	
7月9日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
8月6日(日)	PM	盂蘭盆会法要・全体会・課別懇談会	役員会あり
9月24日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
10月7日(日)	PM	ラ・フェスタ	
11月12日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
12月10日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
30年1月14日(日)	PM	第三者委員と家族会役員懇談会 全体会・課別懇談会	役員会あり
2月11日(日)	PM	全体会・課別懇談会	
3月11日(日)	PM	全体会・春の宴	役員会あり

## V 後援会活動報告

### <年間事業報告>

- ・平成29年4月24日 後援会役員会
  - ① 平成28年度事業実施状況について
  - ② 平成28年度収支決算書について
  - ③ 平成28年度監査報告について
  - ④ 平成29年度事業計画（案）について
  - ⑤ 平成29年度収支予算（案）について
  - ⑥ その他
- ・平成29年 6月21日 第1回デザートテラス（104名参加）
- ・平成29年 7月12日 夏まつり2017
- ・平成29年 9月 6日 長寿の祝い
- ・平成29年10月 7日 ラフェスタ
- ・平成30年 2月 7日 第2回デザートテラス（99名参加）
- ・平成30年 3月16日 役員会開催
  - ・喫茶プティ開催（6回）
  - ・寿司プティ開催（3回）

### <補助事業>

- 1 行事等各種事業への補助
  - ① 行事補助（夏祭り・長寿の祝）
  - ② 人権擁護活動への補助（厚木地区オンブズマンネットワーク会費）
  - ③ 人権フォーラム協賛金
  - ④ ラフェスタ2017補助
  - ⑤ ボランティア交通費補助
  - ⑥ 喫茶プティへの補助
  - ⑦ ハロウィンへの補助
- 2 施設設備への補助
  - ① 温冷配膳車リース
  - ② オープンテラス用テーブル、椅子
    - \* 綿菓子機購入せず
- 3 後援会の発展及び事業の推進
  - ① 会員への各種案内の発送
  - ② 窓口にて後援会の入会及び事業内容の案内
  - ③ 機関紙ベルデカーレにて入会の案内とご加入者報告

\*厚木精華園は、地方自治法による指定管理者施設として神奈川県からの指導を受けています。

所管 神奈川県障害福祉課  
電話 045-210-1111 (代表)

平成29年度  
社会福祉法人かながわ共同会  
厚木精華園 事業概要

平成30年8月発行

発行者 社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園

園長 平嶺 一昭

〒243-0201 厚木市上荻野4835-1

電話 046-291-0780

FAX 046-291-0949

[atsugi@kyoudoukai.jp](mailto:atsugi@kyoudoukai.jp)

<http://www.kyoudoukai.jp/atsugi/>





社会福祉法人 かながわ共同会

厚木精華園 厚木市上荻野4835-1 電話 046-291-0780